

ボディファイト ～輝き を求めし少女～

穂乃果ちゃん推し

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

少女……五月雨 彩花（さみだれあやか）は、超東驚第7ブロック学が丘の中に存在する……創明学園高等学校の2年生。友達も居て、バディファイトも人並みにできる……普通の女子高生。

そんなある日……今までバディを持たなかった少女が、ひよんなことからバディと巡り会いし時……全ての未来が音を立てて動き出す！

目次

プロローグ

# 1. 「出逢いの時」	1
# 2. 「初陣」	10
# 3. 「力試し」	23
# 4. 「幼馴染対決」	30
# 5. 「挑戦者」	41
# 6. 「白金燐子」	47
# 7. 「バディ部」	58
# 8. 「氷の女帝」	63
# 9. 「凍てつきし武神」	71
スクールバディ杯 松カッブ	
# 10. 「始まりの警鐘」	87

# 11. 「特訓開始！」	93
# 12. 「占いし星の竜」	100
# 13. 「陽波VS智夏」	110
# 14. 「煉獄の神」	119
# 15. 「バディ憑依！電神VSヒロイン！」	131
# 16. 「穢れを祓いし電神」	140
# 17. 「ロストワールドの影」	155
# 18. 「異次元の竜」	163
# 19. 「虚無ノ扉ガ開ク時」	172

プロローグ

#1. 「出逢いの時」

「創明学園高校：2—1教室」

生徒A 「ねえねえ、帰りに何する？」

生徒B 「だったらさ、バディファイトしない？」

生徒A 「あ、いいね〜！」

？ 「はあ〜……」

他の生徒が談笑に花を咲かせている状況にて、机に向かつてため息をついている少女が1人……。そう、五月雨 彩花……。その人である。

彩花 「みんな楽しそう……私が入って行ったら、邪魔になるよね……」
？ 「あーやーちゃん！」

彩花 「うひゃあ！……びつくりした〜。あ、なんだ〜ひみちちゃんか〜」

突然勢い良く彩花に近づいて来た人物は、香野 陽波。実はこの2人は小さい頃から幼馴染で、小中高と今まで同じクラスなのだ。そんな陽波は、さっきの彩花の様子について聞いてきた。

陽波「ねっ、どうしたの？私で良かったら、話し聞くよ？」

彩花「ありがとう、実はね……」

陽波の励ましを受けて、心が幾分か軽くなった彩花は、今抱えてる問題を陽波に相談した。

陽波「なるほどね……」

彩花「ど、どう？」

陽波「要はさ……『他の人が楽しんでいる時に、自分から輪の中に入りづらいって事』だよね？」

彩花「うん」

陽波「まずは……アソコ行こ！私の意見だけでは、少し偏るだろうから、あの人に意

見を貰お！」

彩花「わかった」

そう言つて2人はある場所へと向かう。……だが、この時の2人は気付いていなかった。この道の途中に、新たな友ができる事になろうとは……。

—————

〔超東驚商店街〕

陽波「いやあ……何時来ても広いね」

彩花「ホントに商店街かと疑うくらい……」

それもその筈で、2人が訪れている超東驚商店街は、コンビニからカードショップにレストランなど……ありとあらゆるお店が連なっており、正に『商店街』とはとても言い難い場所なのだ。

? 『いや! 離してください!』

彩花「な、何だろう今の!」

陽波「行ってみよう!」

そう言つて2人は駆け出した。すると、1人の女の子に3人も不良が迫っていた。

不良A 「なあ、イイだろ？俺たちと遊ばねえか？」

? 「お断りします！第一……貴方方のような不埒な輩と、共に参る理由がありません！」

不良B 「そんな事言わないでさ……ほら、来いよ」

? 「嫌と言つてるじゃないですか！」

不良A 「釣れねえ事言わねえでさあ……」

? 「そ、そんな……いやあああああ！」

少女が追い詰められ、助けを求めて叫んだ……。暗い路地裏で2人の不良に迫られ、もう身の安全を危ぶんだ……。その時！

彩花 「ちよつと待ったー……!!!」

3人 「!?」

彩花 「女の子1人を迫つて、男の子2人がナンパなんて……最低！その子の気持ちも

考えなかったの!」

不良A「ああん? 誰だテメエ」

彩花「これ以上……不埒な行ないをするなら、私が相手になるよ!」

不良A「仕方ねえな……なら、ファイトだ!」

追い詰められた不良は、彩花にバディファイトを申し込んだ! それを見た彩花は『作戦通り』と言った様に、笑みを浮かべてこう言った。

彩花「いいよ、ファイトを受けるよ!」

陽波「ちよつと彩ちゃん!? 本気なの!」

彩花「うん。……私、ああいう奴等が一番許せないの。私のお母さん、ああ言う男女関係に悩まされて、お父さんが不倫してから……シヨツクの余り、〇〇しちゃったから……」

陽波「……なんか、ゴメンね? 叔母さんが亡くなったのって、つい最近だったのに……」

彩花「ううん、もういいの……お父さんは海外から帰って来るつもりは無いし、私は血の繋がりはあっても、もう他人同士だから……」

? 「そうだったんですか……」

彩花／陽波「!?」

思い出話に2人が耽っている間に、先程までナンパをされていた少女が2人の前に立っていた。

? 「とりあえず、まずは……助けられてありがとうございます。とても嬉しかったです」

彩花「い、いえいえ!滅相も無いです!……私、咄嗟にあんな事しか言えなくて……」
? 「いいえ、あなたは恩人です!……ところで、貴女はバディファイトを、やってるんですか?」

少女は、彩花の制服のスカートのポケットに何かが入っているのを見つけ、彩花に聞いた。流石にそこまでピンポイントで当ててくるとは思わず、彩花は驚いてしまう!

彩花「う、うん」

? 「あ、あの……助けてくれたお礼に、貴女に力をお貸ししたいんです!……よろし

いですか？」

彩花「わかった」

？「ありがとうございます！……あ、私はこう見えなくても、バディモンスター……
〈輝きの制服少女 ミスリル〉と言います。地球での仮の名前は『緋乃 燈』と言います。
出身は《ヒーローワールド》です。」

ミスリルは自らの身分を明かした。それを見た彩花は、自分も自己紹介をする事にした。

彩花「私は五月雨 彩花、使用ワールドは《ヒーローワールド》！……今の所、バディは居ないんだよね……よろしく！」

陽波「私は香野 陽波！彩ちゃんとは幼馴染で、小中高とずっと同じクラスなんだよ！使用ワールドは《スタードラゴンワールド》、バディは〈聖域星竜 エミリアーノ〉！
エミリアーノ『よろしくお願ひします』」

互いに自己紹介を終えた4人は、路地裏から出た。そして先程の不良とファイトを行なうべく、カードショップ「キャッスル」へと向かった。

「カードショップ キヤツスル」

店長 「おつ、いらつしやい」

3人 「こんにちは！店長！」

先程3人が声を掛けたのは、このカードショップ「キヤツスル」の店長である。誰にでもフランクな性格なので、2人はここを常連にしているのだ。

彩花 「ところでなんですけど、店長！」

店長 「ん？なんだい？」

彩花 「ファイトをしたかったので、ステージを貸してくれませんか!？」

店長 「それは構わないよ？それで、誰とするんだい？」

不良A 「俺がやるぜ」

突然入って来たのは、先程ミスリル（燈）をナンパしていた不良だった！驚きの展開に唖然としながらも、店長は快くファイトステージを貸してくれた。

「超東驚商店街」(一方、その頃……)

? 『反応があつたのは、ここだった筈だが……』

? 「いや、ここで間違いないよ……ジャック」

ジャックナイフ 『行こうか、タスク』

タスク 「ああ」

ある要件を済ませるために、超東驚商店街中を探し回っているタスクとバディのジャックナイフ……タスクの左手には、水色のフレームに青いコアを装着したコアデツキケースが握られていた……。

2. 「初陣」

〈前回のあらすじ〉「ver. 彩花」

私、五月雨彩花は、創明学園高等学校に通う高校2年生！友達であり、幼馴染の陽波ちゃんと一緒にカードショップへと向かっている時、2人の不良にナンパをされていた女の子……燈ちゃんを見つけたの！咄嗟に出た言葉で、何とかその状況を収めたのはいいけど、その不良の1人とバディファイトをする事に！燈ちゃんが受けた苦しみ……そっくりそのまま返すんだから！

—————
「カードショップ キヤツスル」

不良A 「さあ、やろうぜ……」

彩花 「貴方なんかは、絶対負けない！」

不良A 「死への恐怖は、相手の心を砕き……精神を歪ませる！ルミナイズ《バーサー

ク・デッドリンク》!!」

彩花 「ルミナイズ！」

オープンTHEフラッグ

不良A「ダークネスドラゴンワールド！」

不良Aの手札6／ゲージ2／ライフ10

バディ《デスルーラー ブリクスト》

彩花「ヒーローワールド！」

彩花の手札6／ゲージ2／ライフ10

バディ《輝きの制服少女 ミスリル》

不良A「俺から行くぜ！チャージ&ドロ！」

不良Aの手札6／ゲージ2↓3

不良A「ゲージ1を払って装備へイヴィル・デスサイズ！」

不良Aの手札6↓5／ゲージ3↓2

イヴィル・デスサイズ／攻4000／打撃2

不良A「行くぜ……俺でファイターに攻撃！」

彩花「うっ……」

彩花のライフ10↓8

不良A「ターンエンド」

不良Aの手札5／ゲージ2／ライフ10

彩花「私のターン！ドロ、チャージ&ドロー！」

彩花の手札6↓7／ゲージ2↓3

彩花「レフトにコールへ制服戦士 レーサーフリル」

彩花の手札7↓6

制服戦士 レーサーフリル

サイズ1／攻20000／防10000／打撃2

【移動】

彩花「ライトにコールへ制服戦士 ブレザーフリル」

彩花の手札6↓5

制服戦士 ブレザーフリル

サイズ2／攻60000／防20000／打撃2

【移動】

彩花「バトル！レーサーフリルでファイターに攻撃！」

不良A「ゲージを払ってキヤストへデスグリップ〜！相手の場のサイズ2以下のモンスター1枚を破壊する……俺はレーサーフリルを破壊だ！」

不良Aの手札5↓4／ゲージ2↓1

レーサーフリル『ここまでね……後は任せたわ！』

制服戦士 レーサーフリル【破壊】!!!

彩花「ブレザーフリルでファイターに攻撃！」

不良A「くっ！」

不良Aのライフ10↓8

彩花「ターンエンド」

彩花の手札5／ゲージ3／ライフ8

不良A「俺のターン！ドロ、チャージ&ドロ！」

不良Aの手札4↓5／ゲージ1↓2

不良A 「てめえには絶望を思い知らせてやる……ゲージ2を払ってライトにバディコール！」

不良Aの手札5↓4／ゲージ2↓0／ライフ8↓9

彩花（来るか……）

不良A 「全ての未来を、絶望へと塗り替える！へデスルーラー ブリクスト〜！」

デスルーラー ブリクスト

サイズ2／攻4000／防3000／打撃2

【2回攻撃】

不良A 「レフトにコールへブラックドラゴン スパインチラー〜！」

不良Aの手札4↓3

ブラックドラゴン スパインチラー

サイズ1／攻3000／防3000／打撃0

不良A 「行くぜ……バトル！」

彩花「ブレザーフリルをセンターに移動！」

不良A「スパインチラー、ブレザーフリルを殺れ！」

彩花「キャストへ正義の盾は砕けない！〜！連携でない攻撃を無効化！」

彩花の手札5↓4

不良A「なら、ブリクストでファイターを殺れ！ブリクストは“潜影”の効果持ちだ

ぜ！」

彩花「うっ……」

彩花のライフ8↓6

不良A「2回攻撃」、ファイターを殺れ！」

彩花「ああっ！」

彩花のライフ6↓4

不良A「だったら、この俺でブレザーフリルを……叩き斬ってやるぜ！」

彩花「貴方の好きになんて……させない！キャストへお前の技は見切った！〜！連携でない攻撃を無効化！」

彩花の手札4↓3

不良A「……次のターンで仕留めてやるよ、ターンエンドだ」

不良Aの手札3／ゲージ0／ライフ9

彩花「私のターン！ドロー、チャージ&ドロー！」

彩花の手札 3 ↓ 4 / ゲージ 3 ↓ 4

彩花「ゲージ1を払ってキャストへそろそろ本気を出さぜ！〜！カードを2枚ドロー！」

彩花の手札 4 ↓ 3 ↓ 5 / ゲージ 4 ↓ 3

陽波（ライフ6以下で使える魔法……この状況を打破するには、あのカードが来れば……！）

彩花はへそろそろ本気を出さぜ！〜で引いた2枚のカードを見る。……すると、その中の1枚が光を放った！

彩花「うあつ！」

？『彩花さん……聞こえますか？』

彩花「ん……あ、貴女は！ミスリル!？」

ミスリル『はい、ミスリルです。盤面を少しだけ確認しましたが、とても苦しい状況みたいですね……』

彩花「うん……」

ミスリルが先程のターンまでの講評を述べると、彩花の顔が俯いてしまった……。けど、次の言葉で彩花の表情が変わった！

ミスリル『ですが、まだ負けた訳ではありません……私はこの状況を覆す程の力がありません。ここは、私に任せてくれませんか？』

彩花「わかった、でもね……ミスリル？」

ミスリル『何でしょうか？』

彩花「私は貴女のバディ……私も共に戦うよ！いや、戦わせて！協力したいの！」

彩花が自分の思いをミスリルに伝えると、ミスリルは『待ってました』と言わんばかりに、軽い笑みを浮かべた。

ミスリル『貴女なら、そう言うと思っていました。……この勝負、絶対に勝ちましょう！』

彩花「行くよ、ミスリル！ゲージ2を払って……バディ【変身】!!!」

彩花の手札5↓4／ゲージ3↓1／ライフ4↓5

不良A「な、何だありや！」

彩花「胸に秘めしは、未来を照らす輝き……戦うは友の為！今描く未来は、明るき光輝の未来！〈輝きの制服少女 ミスリル〉！」

彩花は白きブレザーを基本とした制服を着用した、青い髪と翡翠色の眼をした女の子のモンスターに「変身」した！

輝きの制服少女 ミスリル

フラッグ：ヒーローワールド

種類：モンスター 属性：ヒーロー／ヒロイン

サイズ2／攻6000／防3000／打撃2

■【「コールコスト」】ゲージ3を払う。

■【「対抗」】手札1枚を捨ててよい。そうしたら、相手の場のモンスター全ての能力を、そのターン中、無効化する。

■君のターン終了時、このカードに『変身』していないなら、このカードをドロップゾーンに置いて、君にダメージ2！

『変身』〔ゲージ2を払う〕

彩花「ミスリルの効果を発動！手札1枚を捨てる事で、相手の場のモンスター全ての能力を、そのターン中、無効化する！」

彩花の手札4↓3

不良A「はっ！能力を無効化したぐらいで、いい気になってんじやねえよ！」

ミスリル『果たして、その余裕が何時まで続きますか？』

不良A「どういう意味だ？」

彩花「行くよ……バトル！」

不良A「させねえよ！」

彩花「ブレザーフリルをライトに移動！……ブレザーフリルでファイターに攻撃！」

不良A「うっ……」

不良Aのライフ9↓7

彩花「ミスリルでファイターに攻撃！」

ミスリル『私たちの、勝利のために！』

不良A「ぐはっ！」

不良Aのライフ7↓5

彩花／ミスリル『ファイナルフェイズ！』

不良A 「ここでファイナルフェイズ宣言だど!?」

彩花「ライトに必殺コール!このカードの【コールコスト】は、このターン中にドロップゾーンに置かれたカードの枚数分だけ減らされる!このターン中にドロップゾーンに置かれたカードは4枚!よって……ゲージを払って、ミスリルを必殺モンスターに!」

彩花の手札3↓2/ゲージ1↓0

ミスリル”シャイニング・ブラスター!!”

フラッグ:ヒーローワールド

種類:必殺モンスター 属性:ヒーロー/ヒロイン

サイズ2/攻10000/防3000/打撃3

■【コールコスト】君の場のモンスター1枚に重ね、ゲージ5を払う。

■このカードの【コールコスト】で払うゲージは、このターン中、ドロップゾーンに置かれたカードの枚数分だけ減らされる。

■このカードが攻撃した時、君の手札の枚数分だけ、このカードの打撃力+1!

■このカードが1枚で攻撃している攻撃は無効化されない!

【ソウルガード】

不良A「何イっ!？」

彩花「必殺ミスリルの打撃力は、私の手札の枚数分だけ+1される! 私の手札は2枚
……よって、打撃力+2!」

必殺ミスリル／打撃3↓5

【ソウルガード】／ソウル1

彩花「行くよ……必殺!」

ミスリル『シャイニング・ブラスター』

不良A「うがああー……!!!」

不良Aのライフ5↓0

ゲームエンド! WINNER、五月雨彩花!

不良A「ちくしよー……覚えてやがれ!」

そう言つて1人の不良は仲間を連れて、逃げるように去つて行つた。

彩花 「ふう……」

陽波 「凄かつたよ！彩ちゃん、ナイスだよ！」

彩花 「いやいや！それほども……」

この後、陽波に先程の戦いの様子を根掘り葉掘り聞かれてグロッキーになつた彩花を、ミスリルが連れて帰つたのはまた別の話……。

#3. 「力試し」

彩花はミスリルをバディに迎えての初勝利の余韻に、翌日になっても浸り続けた。その為、バディポリスからコアデツキケースを受け取った後も……。

彩花「はあく……昨日のファイト、良かったな〜」

陽波「彩ちゃん、まだ言ってるの？」

ミスリル『ずっとこんな調子なんです。確かに、バディを組んでの初ファイトで初勝利……というのは、余韻に浸りたくなりますが、幾らがなんでも……』

このようにバディであるミスリルでさえも、未だに止められていない状況なのだ。そんな心境を他所に、彩花は続ける。

彩花「だって……バディが出来たんだよお〜、しかもバディを組んで初めての勝利！嬉しいよ〜」

陽波「ふーん……じゃあさ、私とファイトして見ようよ」

彩花「ひみちちゃんど？」

突然陽波から出された提案に、頭に疑問符を浮かべた彩花。その理由を陽波が言う。

陽波「試してあげるよ……ミスリルの力を。もし、私に勝ったらジュース奢ったげる。」

彩花「ふっふーん！二言は無いね？私とミスリルの絆で、パパッと勝っちゃおうよ〜！」

ミスリル『ちよつと！陽波さんは、昨日の貴女のファイトを見ているのですよ!?!……そんなにいきなりで、大丈夫なのですか!?!』

彩花「大丈夫、大丈夫〜！」

陽波「因みに、私が勝ったらブースター2パックね？」

彩花「じ、ジュースよりも高い!?!」

陽波「どうする？」

彩花「やろう！勝負だよ、ひみちちゃん！」

お互いの気持ちを確認出来たのを確認して、2人はカードショップ キャツスルへと

向かった。

「カードショップ キヤツスル」

店長「おつ、ファイトしたいのかい？」

彩花／陽波「はい！」

店長「いいよ、良いファイトを楽しみにしてるよ！」

そう言って店長はこれまた快くファイトステージを貸してくれた。2人はステージに入り、準備を整える。そして互いに向かい合う。

彩花「手加減は無しで行くよ！」

陽波「もちろん！」

？「ワープ成功！バディファイトある所、奈々菜パル子あり〜！さてさて、今回の対決は……つい先日バディとの初ファイトを勝利で飾ったミラクルガール、五月雨彩花選手と、このカードショップでは3位の実力を持つ実力派、《スタードラゴンワールド》使いの香野陽波選手！……果たして、この2人がどんなファイトを見せてくれるのか、この奈々菜パル子……非常に楽しみです！それでは両者〜、ルミナイズしちゃって

ください！」

実況者であるパル子の催促で、2人はコアデツキケースを構えて……ルミナイズを行なう。

彩花「正義を掲げし麗しき少女よ！己の信じる道を、真つ直ぐ突き進め……輝きに向かつて！ルミナイズ《シャイニング・ヒロイン》!!!」

陽波「煌めく星の竜は、さらに強く輝いて……自らを守る障壁となる！ルミナイズ《スター・プロテクト》!!!」

パル子「それでは両者、バディ……ファイっ!!!」

オープンTHEフラッグ!!!

彩花「ヒーローワールド！」

彩花の手札6／ゲージ2／ライフ10

バディ《輝きの制服少女 ミスリル》

陽波「スタードラゴンワールド！」

陽波の手札6／ゲージ2／ライフ10

バディ《聖域星竜 エミリアーノ》

パル子「先攻は……陽波選手です！」

陽波「それじゃあ……私の先攻！チャージ&ドロ―！」

陽波の手札6／ゲージ2↓3

陽波「センターに〈超熱誕 マグマオーシャン〉をコール！登場した時、私のデッキの上から2枚を破棄して、私のライフ+1！」

陽波の手札6↓5／ライフ10↓11

超熱誕 マグマオーシャン

サイズ2／攻4000／防4000／打撃3

ドロップゾーンに置かれたカード

〈ブレイブメモリー〉

〈竜装機 エルガーカノン〉

パル子「おーっと、先ずは陽波選手！自らのデッキを削って、ライフを回復して来た

〜！」

陽波「行くよ？……マグマオーシャンで彩ちゃんに攻撃するよ！」

彩花「うつ……」

彩花のライフ10↓7

陽波「ターンエンド！」

陽波の手札5／ゲージ3／ライフ11

パル子「初っ端から3ダメージを与えられた彩花選手〜！ここからどう巻き返して行くのか、期待が高まります！」

彩花「やるね〜……私も負けない！私のターン！ドロ、チャージ&ドロ！」

彩花の手札6↓7／ゲージ2↓3

彩花「先ずはへハイパーエナジーをキャスト！私のゲージ+4するよ！」

彩花の手札7↓6／ゲージ3↓7

陽波「相変わらず、インチキ魔法でしょ……それ」

彩花「インチキ言うな〜！」

パル子「先ずは彩花選手、手始めにへハイパーエナジーでゲージを+4して来た〜！ここからどんな戦いをするのか、要注目です！」

彩花「覚悟してね、ひみちゃん？……私の主戦力である《ヒロイン》は、可愛いだけ

じゃないから！見惚れてると……足元を掬われるよ！」

4. 「幼馴染対決」

〈途中経過〉「後攻：彩花の第1ターン」

陽波の手札5／ゲージ3／ライフ11

センター〈超熱誕 マグマオーシャン〉

レフト／ライト／アイテム／設置：無し

彩花の手札6／ゲージ7／ライフ7

センター／レフト／ライト：無し

アイテム／設置：無し

—————

彩花「レフトに〈制服戦士 レーサーフリル〉、ライトに〈制服戦士 ブレザーフリル〉をコール！レーサーフリルの効果で、私の場に《ヒロイン》が出た時、1枚ドロ―！」

彩花の手札6↓5↓4↓5

制服戦士 レーサーフリル

サイズ1／攻2000／防1000／打撃2

【移動】

制服戦士 ブレザーフリル

サイズ2／攻6000／防2000／打撃2

【移動】

陽波「2体とも【移動】持ち……（これじゃあへバーレカル・バレット）を仮に使ったとしても、次のターンには護りを固められる……）」

彩花「行くよ、ひみちちゃん！ゲージ2を払って……バディ【変身】！」

彩花の手札5↓4／ゲージ7↓5／ライフ7↓8

陽波「バディが来る……その力、見極めさせてもらおうよ！」

彩花「胸に秘めしは、未来を照らす輝き……戦うは友の為！今描く未来は、明るき光輝の未来！へ輝きの制服少女 ミスリル～」

ミスリル『彩花さん、今日も共に参りましょう！』

輝きの制服少女 ミスリル

サイズ2／攻6000／防3000／打撃2

【変身】

陽波「へえ〜……改めて見ると、ホントに可愛いね!……ナンパされてた理由が今なら少しだけわかるかも」

彩花／ミスリル「『分からなくていいよ（です）!』」

陽波「ごめんごめん……続けて?」

彩花「ミスリルの効果を発動!手札1枚を捨てる事で、相手の場のモンスター全ての能力を、そのターン中、無効化する!」

彩花の手札4↓3

パール子「おおーっと、ここで彩花選手!ミスリルの効果を使ったく!しかし、無効化したのは能力!破壊では無く能力を無効化を選んだのには、何か理由があるのかく!」

彩花「行くよ……バトル!」

陽波「このまま攻撃させるのは、問屋が下ろさない!ゲージを払ってへバーレカル・バレット」をキャスト!効果でブレザーフリルを破壊!」

陽波の手札5↓4／ゲージ3↓2

彩花「嘘!?!」

制服戦士 ブレザーフリル【撃破】!!!

彩花「だったら！レーサーフリルでマグマオーシャンを攻撃するよ！」

超熱誕 マグマオーシャン【撃破】!!!

陽波「マグマオーシャンの効果を発動！……する所だけど、それは出来ないからなく」
パル子「そうです！先程の彩花選手の発動した効果で、陽波選手の場のモンスター全ての能力を、そのターン中、無効化されています！なので、マグマオーシャンの破壊時効果が不発に終わります！」

彩花「次！ミスリルでひみちちゃんに攻撃！」

陽波「うっ……」

陽波のライフ11↓9

彩花「ターンエンド」

彩花の手札3／ゲージ5／ライフ8

陽波「私のターン！ドロロー、チャージ&ドロロー！」

陽波の手札4↓5／ゲージ2↓3

陽波「行くよ！ドロップゾーンのカード1枚と、デッキの上から1枚をソウルに加えて……ゲージ2を払って、センターにバディコール！」

陽波の手札5↓4／ゲージ3↓1／ライフ9↓10

パル子「おおーっと！ここで陽波選手もバディコールだ〜！……これは、未だに見たことのない熾烈なファイトが見られそうです！」

陽波「聖域より君臨せし星竜よ……その力で、全ての敵を抑圧せよ！へ聖域星竜 エミリアーノ〜！」

エミリアーノ『陽波……私と共に、勝利へと向かきましょう！』

聖域星竜 エミリアーノ

フラッグ：スタードラゴンワールド

種類：モンスター 属性：ネオドラゴン

サイズ3／攻7000／防8000／打撃2

■【「コールコスト」】君のドロップゾーンのカード1枚と君のデッキの上から1枚をこのカードのソウルに入れ、ゲージ2を払う。

■このカードがセンターにいるなら、君は相手のカードの効果によるダメージを受けない。

■このカードのソウルにカードがあるなら、相手はこのカードの攻撃に対して【対抗】を使えない。

【ソウルガード】

ソウルに入れたカード

〈フェイト・インフォメーション〉（デッキ）

〈竜装機 エルガーカノン〉（ドロップゾーン）

聖域星竜 エミリアーノ

攻7000↓9000／防8000／打撃2↓3

【ソウルガード】／ソウル2

陽波「どう？これが私のバディ！」

彩花「き、綺麗……」

陽波「驚くのは……まだまだここから！ライファーを払ってヘスターオルタナティブをキャスト！私はドロップゾーンから〈竜装機 コメッタ〉をエミリアーノのソウルに加える！」

陽波の手札4↓3 / ライフ10↓9

聖域星竜 エミリアーノ

攻9000 / 防8000 / 打撃3

【貫通】【ソウルガード】 / ソウル2↓3

陽波「キャストへエレクトリック・ソース〜！私のゲージ+1！さらに、私の場にソウルが2枚以上のカードがあるので、ゲージ+2！」

陽波の手札3↓2 / ゲージ1↓2↓4

パール子「ここで陽波選手、ゲージを増やして来たく！一体どんな戦略を繰り広げるのか！」

陽波「行くよ……バトル！」

彩花「レーサーフリルの【移動】はしないよ」

陽波「エミリアーノで彩ちゃんに攻撃！」

エミリアーノ『行きます……プリズミック・オーロラレイン！』

彩花「ここで使うよ！キャスト！」

陽波「ちよつと待った！」

彩花「ん？」

陽波「ここでエミリアーノの効果を発動！このカードのソウルにカードがあるなら、相手は【対抗】を使えない！……エミリアーノのソウルには、カードがあります！なので……彩ちゃんは、この攻撃に対して【対抗】を使えないよ！」

彩花「ええ!?……うわあっ！」

彩花のライフ8↓5

陽波「私はこれでターンエンド」

陽波の手札2／ゲージ4／ライフ9

彩花「私のターン！ドロ、チャージ&ドロ！」

彩花の手札3↓4／ゲージ5↓6

彩花「先ずは……ミスリルの効果を発動！手札1枚を捨てる事で、相手の場のモンスター全ての能力を無効化！」

彩花の手札4↓3

ミスリル（これで先ずは……1枚）

彩花「ゲージ1を払ってへ制服戦士 ハ克蘭フリルをライトにコール！登場した時、私の場に《ヒロイン》があるので、相手の場のモンスター1枚を破壊！私が破壊するのは……へ聖域星竜 エミリアーノ！」

彩花の手札 3 ↓ 2 / ゲージ 6 ↓ 5

ミスリル (これで……2枚)

聖域星竜 エミリアーノ【撃破】!!!

陽波「や、やっぱり……強い！」

彩花「ゲージ1を払ってキヤストへそろそろ本気を出すぜ！〜！2枚ドロ〜！」

彩花の手札 2 ↓ 1 ↓ 3 / ゲージ 5 ↓ 4

陽波 (これで……4枚)

彩花「行くよ……バトル！レーサーフリルでひみちゃんに攻撃！」

陽波「うっ……」

陽波のライフ 9 ↓ 7

彩花「ハ克蘭フリルでひみちゃんに攻撃！」

陽波「うっ……」

陽波のライフ 7 ↓ 5

彩花「ミスリル (私) でひみちゃんに攻撃！」

陽波「うっ……」

陽波のライフ5↓3

彩花／ミスリル「『ファイナルフェイズ!』」

パール子「ここでファイナルフェイズ宣言、来た〜!」

彩花「ライトに必殺コール!このターン中にドロップゾーンに置かれたカードの枚数分だけ、『コールコスト』で払うゲージを減らせる!ドロップゾーンに置かれたカードは4枚!よって……ゲージ1を払って、ミスリルを必殺モンスターに!」

彩花の手札3↓2／ゲージ4↓3

ミスリル「シャイニング・ブラスター!!」

サイズ2／攻10000／防3000／打撃2↓4

【ソウルガード】／ソウル1

彩花「行くよ……必殺!」

ミスリル『シャイニング・ブラスター』

陽波「うああ!!」

!!!!!!

陽波のライフ3↓0

ゲームエンド！WINNER、五月雨彩花！

パル子「決着く！勝者、五月雨彩花！ミスリルと必殺モンスターのミスリルを使いこなし、香野陽波選手を下したくく！」

—————

「その後……」

陽波「や、約束だからね……何がいい？」

彩花「私はビツ〇ルソーダが良いな」

陽波「燈ちゃんは？」

燈「い、良いのですか？」

陽波「うん」

燈「では……普通のお茶をお願いします」

その後陽波は彩花とミスリル（燈）に飲み物を一本ずつ奢った。……だが、この時の3人は気付いていなかった。彩花の能力に興味を持って、挑んで来る女の子がいる事に……。

#5. 「挑戦者」

彩花とミスリルが陽波にジューズを奢ってもらった後、3人は帰ろうとした。すると……、

? 「あ、あの!」

3人「?」

彩花 「どうしたの?」

? 「さ、先程……ファイトを、しましたよね?」

少女の言葉に対して、彩花たち3人は頷く。それもその筈で、3人は経った今ファイトを終えたばかりなのだ。

陽波 「そうだけど……どうしたの?」

? 「良ければ……私と、ファイト……してくれませんか?」

ミスリル 『どうするのですか?』

彩花「うーん……」

？「いい、嫌なら良いんです！こ、この事は忘れて下さい！」

少女は少々慌てて彩花たちに伝える。それを聞いた陽波とミスリルは、少し焦っていたが……彩花だけは少し考えていた。少しした後、彩花が声を発する。

彩花「いいよ、相手するよ」

？「ほ……本当ですか!？」

彩花「うん。えつと……私は五月雨彩花、創明学園高校つて言う女子校に通ってる……高校2年生だよ。貴女は？」

？「し、白金……燐子……です。こ、高校2年生……です」

陽波「同じ歳だね〜！普通にイイよ！あ、私は香野陽波！彩ちゃんとは幼馴染なんだ〜！」

ミスリル『では最後に……私はへ輝きの制服少女 ミスリル、この世界では『緋乃燈』と言う名前で通ってます』

互いに自己紹介を終えた両者は、雑談へと入る。内容は勿論……先程の事である。

彩花「さつき……何故観客席から確り見なくて、コソコソと隠れるような事をしたの？」

燐子「だって、彩花ちゃんと陽波ちゃんが……すつごく楽しそうにファイトをしてたから……」

陽波「なるほど……周りの迷惑になるかもしれないって思ったからなんだ……あれ？間違っていないかな？」

燐子「……」

ミスリル『「沈黙は肯定の証」……そのような理由だったのですね?』

陽波が燐子の隠れていた理由をズバツと言うと、燐子はいきなり俯いてしまった。さらにミスリルが同じ様な事を言ったので、さらに俯いてしまった。

彩花「だ、大丈夫!？」

燐子「だ、大丈夫……です」

彩花「それで?どうして、私にファイトを挑もうと思ったの?」

燐子「さつきファイトしてた時に、とても可愛くて強かったから……これじゃあ、ダ

メ……ですかね？」

彩花「ううん！そう言ってくれて嬉しいよ……じゃあ、やろうか！」

燐子「へ？な、何を……ですか？」

彩花が言い出した事に燐子が思わず聞き返す。すると彩花は再確認をするかの様に、燐子へと問う。

彩花「ファイト……するんだよね？やるよ！」

燐子「う、うん！」

—————

燐子「よ、よろしくお願いします！」

彩花「イイよ！」

燐子「煉獄の掟を背負いし騎士団よ……止まる事無き連撃で、全ての生命を終焉へと導け！ルミナイズ《インフェルノ・ブレイズ》!!!」

彩花「正義を掲げし少女よ！己の信じる道を、真つ直ぐ突き進め……輝きに向かって！ルミナイズ《シャイニング・ヒロイン》!!!」

オープンTHEフラッグ!!!

燐子「ダークネスドラゴンワールド!」

燐子の手札6／ゲージ2／ライフ10

バディ《煉獄騎士団》クラッシュハンマー・ドラゴン》

彩花「ヒーローワールド!」

彩花の手札6／ゲージ2／ライフ10

バディ《輝きの制服少女》ミスリル》

—————

陽波「燐子ちゃんの使用デッキは《煉獄騎士団》……味方を生贄に捧げて、止む事の無い攻撃を浴びせてくる……彩ちゃんは一体どうするのかな?」

—————

燐子「私から先攻で行くよ!チャージ&ドロ!」

燐子の手札6／ゲージ2↓3

燐子「ゲージ1を払ってへ煉獄騎士団団長の剣「デイミオスソード」を装備!」

燐子の手札6↓5／ゲージ3↓2

煉獄騎士団団長の剣 デイミオスソード

フレッジ：ダークネスドラゴンワールド

種類：アイテム 属性：ドラゴン／武器

攻3000／打撃2

■【装備コスト】ゲージを払う。

■君のターン中、君の場のカード名に「煉獄騎士団」を含むモンスターが破壊された時、カード1枚を引き、君の場の「煉獄騎士団」を含むカード1枚を、そのターン中、攻撃力+3000！この能力は1ターンに1回だけ発動する。

FT『切先は潰れ、狂気を孕み、騎竜の心と姿は歪んでいった。』

燐子「行くよ、バトル！デイミオスソードで……彩花ちゃんに攻撃！」

彩花「うあっ！」

彩花のライフ10↓8

燐子「ターンエンドだよ」

燐子の手札5／ゲージ2／ライフ10

彩花「なるほど……《煉獄騎士団》のデッキか。イイよ！私も全力で相手をするよ

！」

制服戦士 フォーマルフリル

サイズ2 / 攻6000 / 防2000 / 打撃2

彩花「レフトに〈制服戦士 レーサーフリル〉をコール！登場した時、私の場に《ヒロイン》があるなら、1枚ドロウする！」

彩花の手札6 ↓ 5 ↓ 6

制服戦士 レーサーフリル

サイズ1 / 攻2000 / 防1000 / 打撃2

彩花「そして……最初っから飛ばして行くよ！ゲージ2を払って、バディ【変身】!!!」

彩花の手札6 ↓ 5 / ゲージ2 ↓ 0 / ライフ8 ↓ 9

燐子「い、いきなり来るの!?!」

彩花「もう一度……宜しくね！私のバディ！〈輝きの制服少女 ミスリル〉！」

ミスリル『連戦ですか……気を引き締めて、勝ちに行きましょう!』

輝きの制服少女 ミスリル

サイズ2 / 攻6000 / 防3000 / 打撃2

【変身】

彩花「キャストへハイパーエナジー〜！私のゲージを+4！……行くよ、燐子ちゃん
！」

彩花の手札5 ↓ 4 / ゲージ0 ↓ 4

燐子「はい！」

彩花「レーサーフリルで燐子ちゃんに攻撃！」

燐子「うあっ！」

燐子のライフ10 ↓ 8

彩花「フォーマルフリルで燐子ちゃんに攻撃！」

燐子「キャストへデスグリップ〜！フォーマルフリルを破壊します！」

燐子の手札5 ↓ 4 / ゲージ2 ↓ 1

制服戦士 フォーマルフリル【撃破】!!!

彩花（フォーマルフリルの効果を使って、ライフをギリギリまで減らしたかったのに……！仕方ない！）

———

陽波「うわあ〜……すごいね〜」

エミリアーノ『あの燐子という少女……中々にやりますね。更なる追撃を免れたのもありますが、総ダメージ数も大幅に減らしました』

陽波「うん（頑張つて、彩ちゃん！）」

———

彩花「だったら、ミスリルで燐子ちゃんに攻撃！」

燐子「うあつ！」

燐子のライフ8↓6

彩花「ターンエンド」

彩花の手札4／ゲージ4／ライフ9

燐子「私のターンです！ドロー、チャージ&ドロー！」

燐子の手札4↓5／ゲージ1↓2

燐子「先ずはへその身を砕き、我を支えよ」を【設置】！さらに、ゲージとダメージ1をコストにへ煉獄騎士よ、永遠なれ」をキャスト！」

燐子の手札 5 ↓ 4 ↓ 3 / ゲージ 2 ↓ 1 / ライフ 6 ↓ 5

煉獄騎士よ、永遠なれ

フラッグ：ダークネスドラゴンワールド

種類：魔法 属性：ドラゴン/ゲット

■【使用コスト】ゲージを払い、君にダメージ1。

■君のドロップゾーンの手札名に「煉獄騎士団」を含むモンスター2枚までを手札に加える。

燐子「私に加えるのは……この2枚！」

燐子の手札 3 ↓ 5

—————

「手札に加えたカード」

① へ煉獄騎士団 クラッシュハンマー・ドラゴン

② へ煉獄騎士団 エヴィルグレイブ・ドラゴン

—————

燐子「さらに！私がダメージを受けた事により……キャストへギロチンカッター！」

私が破壊するのは……〈輝きの制服少女 ミスリル〉！

燐子の手札5↓4／ゲージ1↓0

ミスリル『す、すみません……撤退します！』

輝きの制服少女 ミスリル【撃破】!!!

彩花「ミ、ミスリル!？」

燐子「レフトに〈煉獄騎士団 エヴィルグレイブ・ドラゴン〉をコール!」

燐子の手札4↓3

煉獄騎士団 エヴィルグレイブ・ドラゴン

サイズ1／攻3000／防3000／打撃1

燐子「行きますよ……ライトにバディコール!」

燐子の手札3↓2／ライフ5↓6

燐子「煉獄の掟を背負いし騎士よ……その力で、立ちはだかるものすべてを灰と化せ!」
! 〈煉獄騎士団 クラッシュハンマー・ドラゴン〉!

煉獄騎士団 クラツシユハンマー・ドラゴン

フラッグ：ダークネスドラゴンワールド

種類：モンスター 属性：武装騎竜／白竜

サイズ2／攻6000／防3000／打撃1

■【対抗】【起動】君の場のカード名に「煉獄騎士団」を含むモンスター1枚を破壊し、手札1枚を捨ててよい。そうしたら、相手の場のモンスター1枚を破壊し、相手にダメージ！

FT『さあ、燐子！我にご命令を！』

燐子「キャストへソウルステイル〜！ゲージ+2！……行くよ、バトル！」

燐子の手札2↓1／ゲージ0↓2

彩花「レーサーフリルをセンターに移動！」

燐子「エヴィルグレイブでレーサーフリルに攻撃！」

制服戦士 レーサーフリル【撃破】!!!

燐子「クラッシュハンマーの効果！エヴィルグレイブを破壊し、手札1枚を捨てる事で……相手にダメージ1を与える！」

燐子の手札1↓0

煉獄騎士団 エヴィルグレイブ・ドラゴン【撃破】!!!

彩花「そ、そんな！」

彩花のライフ9↓8

燐子「エヴィルグレイブの効果、1枚ドロー！さらに、設置魔法の効果でゲージ+1！さらにさらに！デイミアスソードの効果で、1枚ドローして……デイミアスソードの攻撃力+3000！」

燐子の手札0↓1↓2 / ゲージ2↓3

デイミアスソード / 攻3000 ↓ 6000

彩花「ええ!？」

燐子「次ですよ？クラッシュハンマーで彩花ちゃんに攻撃！」

彩花「うあっ！」

彩花のライフ8↓7

燐子「クラッシュハンマーの効果！自身を破壊して、相手にダメージ！」

燐子の手札2↓1

煉獄騎士団 クラッシュハンマー・ドラゴン【撃破】!!!

彩花「うあっ！」

彩花のライフ7↓6

燐子「設置魔法の効果で、ゲージ＋1！行きますよ……デイミオスソードで彩花ちゃんに攻撃！」

燐子のゲージ3↓4

彩花「うっ……」

彩花のライフ6↓4

燐子「裁きの時間ですよ？……ファイナルフェイズ！ゲージ4を払って、キャスト！」
燐子の手札1↓0／ゲージ4↓0

燐子はそのカードの使用を宣言した瞬間、辺りの時間が壊れたかの様に止まった！使用者以外の時間は漏れなく止まっている。その中で燐子は淡々と続ける。

燐子「歪め、世界よ……時を巻き戻し、悲しみを消し去れ！絶無の剣！〈テイストーシヨン・パニツシャー！！〉」

彩花「……」

彩花のライフ4↓0

ゲームエンド！WINNER、白金燐子！

—————

彩花「いや……強かった！ありがと、良い経験になったよ！」

燐子「そうですか？……それなら、良かったです」

彩花「また機会があったら、何処かでファイトしようね？」

燐子「はい！その時は、また私が勝ちますよ？」

彩花「いい心意気だけど……次は私が勝つよ」

お互いに友情を確かめあった2人は、再戦できる事を願って握手を交わした。後にこ

の少女との出会いが、2人の運命を左右する事になるのを、彩花と陽波はまだ知らなかった。

#7. 「バディ部」

燐子とのファイトから2日経った翌日……彩花と陽波は、学校へと授業を受けに行つた。そして暫くした後……。

〔創明学園高校 2—1教室〕

陽波「う、うーん……疲れる〜」

彩花「ひみちゃん、一緒にお昼食べよ？」

陽波「わかった。」

彩花「今日はこの娘も呼んでるよ〜？彩華ちゃん」

そう言うのと彩花は彩華を呼んだ。彩華は彩花たちのクラスの学級委員で、周りの雰囲気と和やかにする事のできる力を持つ女の子だ。

彩華「私も混ぜて〜？」

陽波「わかった！じゃあ……屋上に行こつ！」

そう言つて3人はお昼ご飯を食べる為に、屋上に向かった。

「屋上」

お昼ご飯を食べてから暫くした後、彩花がこんな提案をして来た！

彩花「ねえ……私、思い付いたんだ」

陽波「何を？」

彩華「何だろ〜？」

彩花「それはね……？」

2人「それは……？」

彩花が少し黙る。お互いの沈黙が広まった頃……そのタイミングを見計らつて、彩花が再び話し始める！

彩花「バディ部、創ろう！」

彩華「うわあ〜、面白そ〜♪」

陽波「また突然だね……何時思いついたの？」

彩花「今！」

陽波「うわあ〜……」

彩花が思いついた時を言った瞬間、陽波の顔が少しずつ青ざめていった。それとは反対に彩華の顔は何かを期待してるかのような顔になった！彩華は彩花に聞いた。

彩華「でも彩花ちゃん、バディ部を創って……どうするの？」

陽波「そうだよ、具体的な内容はあるの？」

彩花「ん？何って……バディファイトだよ？」

彩華「た、多分……陽波ちゃんが聞きたいのは、そこじゃないはず……」

陽波「それは何となくわかるよ？ファイトをするなら、キャツスルでいいよね？」

彩華が苦笑いを浮かべながら、陽波の気持ちを読み取り……陽波が真つ当な事を聞いて返す。それを彩花は、こう返す。

彩花「んも〜……分かってないなく！青春って言ったら、部活だよ！」

陽波「うん」

彩花「部活は青春だよ！」

陽波「……だから？」

彩花「バディ部を創ろう！」

陽波「いやいや、分からないから……」

彩花は自信を持って陽波に言う。だが、それを少しイラツとした表情を浮かべて論破する陽波。そしてそれを見て苦笑いを浮かべながら2人を見ていた彩華。渋る陽波を、彩花はある行動に移す！

彩花「とにかく！部活申請の紙を貰いに行こ！」

陽波「ええ？……ちよっ！」

彩花は陽波の手を引っ張って、生徒会室へと急ぐ。それを見ていた彩華は、ある事に気づく。

彩華「大変だね〜陽波ちゃん……。……あつ！お弁当、二人とも忘れてるよ!?!……待ってよ〜！」

先に駆け出して、お弁当を忘れていた2人の荷物を持ち、彩華は2人のあとを追った。

「生徒会室」

？「何？……ああ、五月雨さんに香野さん……何か用？」

彩花「美沙ちゃん！部活申請の紙を貰えない？」

美沙「イイよ、何するの？」

美沙に部活創設書を欲する理由を問われた。それを聞かれた彩花はこう答えた。

彩花「バディ部を創ろうと思って！」

美沙「へ〜……バディ部創るんだ、頑張つてね。……じゃあ、はいこれ。」

彩花「ありがとう！……それじゃあ、描いてから持つて来るね〜！」

そう言つて彩花と陽波は生徒会室を退出する。生徒会室内には、冷たく微笑む美沙の姿があつた。

#8. 「氷の女帝」

彩花は部活創設書に彩花、陽波、彩華の名前を書いて、生徒会室にいる美沙に手渡す。そうしたら、美沙はこう言う。

美沙 「あら？部員って3人だけかしら？」

彩花 「うん！……今はね」

美沙 「そう……でも、残念ね。今のままじゃ、まだバディ部は創れないわよ？」

彩花 「え？」

美沙の話によると、新しい部活を創立するには……最低でも4人の名前が必要らしい。彩花はろくに部活創設書の説明を読んでいなかった。

美沙 「悪いけど……あと一人部員を見つけて来てね？」

彩花 「わかった！……必ず、見つけて来る！」

3人 『失礼しました』

3人はそう言つて生徒会室を後にした。必ず4人目を見つける事を決意して。

彩華「残念だったね……」

陽波「仕方ないよ。どうする？」

彩花「当然！見つけよう、4人目！」

……とまあ、意気揚々と意気込んだは良いものの、見つからなかった理由で……。

彩花「うう……誰も入部してくれないよ」

陽波「しょうが無いよね」

彩花「陽波ちゃん、何で他人事なの……？」

彩華「あの……この際、美沙ちゃんに入ってもらったら？」

2人「え？」

彩華に言われて、彩花と陽波は顔を見合わせる。……そして何かを思い出したかのように、2人は声を上げる！

2人『ああ~~~~~!!!!!!』

先生「何してるの貴女たち！静かにしなさい！」

2人「すみません……」

気を取り直した3人は再び生徒会室へと急ぐ。

—————

〔生徒会室〕

美沙「……私が？」

彩花「お願い！バディ部に入ってくれない？」

美沙「……良いけど、条件があるわ」

彩花「お、お願い……？」

美沙はそう言うと、彩花を指さして条件を提示する。

美沙「貴女の力、見せて欲しい……私を入部させるだけの力があるかどうか、試したいわ」

彩花「わかった！」

美沙「じゃあ……決まりね。放課後に全校生徒の前で、ファイトをしましょ。ファイトステージにて待つわ。」

—————

「ファイトステージ」〔そして……放課後〕

美沙「約束通り……来たわね？」

彩花「うん！」

？『皆さんお待ちせ致しました〜！今回は五月雨彩花選手と我が創明学園高校生徒会長代行……白雪美沙選手のファイトを、放送部3年の鋪嶋水無子（しきしまみなこ）でお送りします！』

水無子がそう言った途端、周りのボルテージが急上昇した！そんな状況に構わず美沙と彩花は向かい合う。

彩花「負けないよ！」

美沙「貴女は、私に勝てるかしら？」

水無子『それでは両者、ルミナイズしちゃって下さい！』

彩花「正義を掲げし少女よ！己の信じる道を、真っ直ぐ突き進め……輝きに向かって
！ルミナイズ《シャイニング・ヒロイン》!!!」

美沙「氷河より硬く、氷河より分厚く、氷河より冷たく……ルミナイズ《氷河武神伝》
水無子『それでは参ります！バディ、ファイっ!!!』

オーブンTHEフラッグ!!!

彩花「ヒーローワールド！」

彩花の手札6／ゲージ2／ライフ10

バディ《輝きの制服少女 ミスリル》

美沙「エンシエントワールド」

美沙の手札6／ゲージ2／ライフ10

バディ《氷河武神 グレイシャーズイーター》

水無子『先攻は……彩花選手！』

彩花「私から行くよ！チャージ&ドロー！」

彩花の手札6 / ゲージ2 ↓ 3

彩花「最初っから飛ばして行くよ！ゲージ2を払って、バディ【変身】！」

彩花の手札6 ↓ 5 / ゲージ3 ↓ 2

水無子『おおーっと！彩花選手！いきなりのバディコール……いや、バディ変身だ！』

美沙「いきなり来るのね……」

彩花「今日も宜しくね！へ輝きの制服少女 ミスリル〜！」

ミスリル『共に勝利へと参りましょう！』

輝きの制服少女 ミスリル

サイズ2 / 攻6000 / 防3000 / 打撃2

【変身】

彩花「行くよ！ミスリルで美沙ちゃんに攻撃！」

美沙「……」

美沙のライフ10↓8

彩花「ターンエンド！」

彩花の手札5／ゲージ1／ライフ10

美沙「私のターン……ドロ、チャージ&ドロ。」

美沙の手札6↓7／ゲージ2↓3

美沙「キャストへ竜王伝」効果でゲージ+1、ライフ+1、1枚ドロ。ライフ2を払ってキャストへ天竜開闢」効果で2枚ドロ。」

美沙の手札7↓6↓7↓6↓8／ゲージ3↓4／ライフ8↓9↓7

水無子『おおー！美沙選手の1番手は、《エンシエントワールド》の十八番！』

美沙「さらにキャストへ同床竜夢」効果でライフ+3」

美沙の手札8↓7／ライフ7↓10

彩花「ラ、ライフが……！」

美沙「これで元通り……そして、ゲージ2を払ってセンターにバディコール」

美沙の手札7↓6／ゲージ4↓2／ライフ10↓11

美沙「氷河より生まれし武神よ……その凍てつく咆哮で、全てを凍結せよ……へ氷河

武神
グレイシャー
ズイーガー
ン

#9. 「凍てつきし武神」

美沙「氷河より生まれし武神よ……その凍てつく咆哮で、全てを凍結せよ……へ氷河武神 グレイシャーズイーガー」

氷河武神 グレイシャーズイーガー

フラッグ：エンシエントワールド

種類：モンスター 属性：ドラゴンロード／神

サイズ3／攻7000／防7000／打撃3

■【「コールコスト」】君のデッキの上から2枚をこのカードのソウルに入れ、ゲージ2を払う。

■ ”凍てつく咆哮” 【対抗】このカードが攻撃されているバトル中、君の手札1枚をドロップゾーンに置く。置いたら、そのカード1枚の攻撃力ー3000！

【移動】【ソウルガード】

FT 『エンシエントワールドの極寒の地にも、武神はいるのだ』

〈途中経過〉

美沙の手札6／ゲージ2／ライフル1

センター〈氷河武神 グレイシャーズイーガー〉

レフト／ライト：無し

アイテム／設置：無し

彩花の手札5／ゲージ1／ライフル10

センター／レフト／ライト：無し

アイテム〈輝きの制服少女 ミスリル〉

設置：無し

水無子『おおーっと！ここで美沙選手は、グレイシャーズイーガーをバディコールだ

〜！見ているとこつちまで凍えて来そうです……』ブルブル

彩花「さ、寒い……」ブルブル

ミスリル『大丈夫ですか、彩花？』

彩花「だ、大丈夫じゃない……」

会場はグレイシャーズイーガアの放つ冷気に、身体を震わせていた。そんな状況でも美沙は涼しい顔でステージに立っていた。

美沙「さらにライフルを払って装備へ絶氷甲 イテツキ」

美沙の手札 6 ↓ 5 / ライフル 1 ↓ 1 0

絶氷甲 イテツキ

フラッグ：エンシエントワールド

種類：アイテム 属性：氷／武器

攻 2 0 0 0 / 打撃 2

■【装備コスト】ライフルを払う。

■このカードは君のセンターにモンスターがいても攻撃できる。

■【対抗】君のデッキの上から1枚をドロップゾーンに置く。置いたら、相手の場のカード1枚を選び、そのターン中、そのカードの攻撃力－3000、防御力－3000！この効果は1ターンに1回だけ使える。

FT『イテツキ——それは相手だけではなく、使用者でさえも凍り付かせる』

美沙「バトルよ……先ずはデッキの上から1枚を破棄、そして、ミスリルの攻撃力と防御力を—3000するわ」

輝きの制服少女 ミスリル

攻6000↓3000／防3000↓0

彩花「嘘!？」

ミスリル『か、身体が凍り付いて……言う事を、聞きません!』

彩花「ミスリル!？」

—————

彩華「ああ……」

陽波「凄い、よく考えられてる……」

彩華「……って、感心してる場合かな?」

—————

美沙「グレイシャーズイーガーで彩花さんに攻撃」

彩花「あうっ!」

彩花のライフ10↓7

美沙「イテツキで彩花さんに攻撃」

彩花「きやあ！」

彩花のライフ7↓5

美沙「これで私はターンエンド」

美沙の手札5／ゲージ2／ライフ10

輝きの制服少女 ミスリル

攻3000↓6000／防0↓3000

彩花「私のターン！ドロー、チャージ&ドロー！」

彩花の手札5↓6／ゲージ1↓2

彩花「先ずはミスリルの効果！手札1枚を捨てる事で、グレイシャーズイーガールの効果を無効化！」

彩花の手札6↓5

美沙「……」

水無子『今度は彩花選手が仕掛けた！果たして、グレイシャーズイーガールの能力を無

効化した真の狙いは如何に！」

彩花「ゲージを払ってレフトにコール（制服戦士 ハ克蘭フリル）！登場した時、私の場に他の《ヒロイン》があるなら……相手の場のモンスター1枚を破壊する！」

彩花の手札5↓4／ゲージ2↓1

制服戦士 ハ克蘭フリル

サイズ2／攻6000／防2000／打撃2

【移動】

彩花「私が破壊するのは……グレイシャーズイーガー！グレイシャーズイーガーを破壊！」

彩花がグレイシャーズイーガーの破壊をハ克蘭フリルに指示し、ハ克蘭フリルはグレイシャーズイーガーを破壊した！……しかし、破壊したと思っていたら！

水無子『お、おおーっと！これはどういう事だ〜!?破壊されたハズのグレイシャーズイーガーが、無傷でセンターに留まっている！』

彩花「どうして!？」

美沙「……凄いわね、貴女。あんな形でグレイシャーズイーガーの意表を突くなんて……でも、その戦法もこのカードの前には無意味。」

説明しよう!美沙はグレイシャーズイーガーが破壊されるほんの一瞬に、あるカードの使用を宣言していたのだ!

—————

〈数秒前〉

美沙『ライフ3を払ってキャスト〈絶氷竜壁〉効果でこのターン中、グレイシャーズイーガーの効果による破壊を全て無効化するわ』

美沙の手札5↓4／ライフ10↓7

絶氷竜壁

フレッジ：エンシエントワールド

種類：魔法 属性：ドラゴンロード／防御

■君の場にカード名に「グレイシャーズイーガー」を含むカードがあるなら使える。

■【使用コスト】ライフ3を払う。

■【対抗】君の場のモンスター1枚を選ぶ。そのターン中、選んだカードは相手のカードの効果によって破壊されない。「絶氷竜壁」は1ターンに1枚だけ使える。

—————

彩花「そ、そんな……!!」

美沙「さらにイテツキの効果で、デツキの上から1枚を破棄。それによりミスリルの攻撃力—3000、防御力—3000するわ」

輝きの制服少女 ミスリル

攻6000↓3000／防3000↓0

彩花「ま、また!?!……ゲージ1を払ってキャストへそろそろ本気を出すぜ!〜!2枚ドロ—!……行くよ、ハ克蘭フリルとミスリルでグレイシャーズイーガーに連携攻撃!」

彩花の手札4↓3↓5／ゲージ1↓0

美沙「キャストへ竜神無頼」効果でグレイシャーズイーガーの攻撃力+3000、防御力+3000して【反撃】を与えるわ」

美沙の手札4↓3

水河武神 グレイシャーズイーガー

攻7000↓10000／防7000↓10000

【移動】【反撃】【ソウルガード】／ソウル1

美沙 「ハ克蘭フリルに【反撃】」

制服戦士 ハ克蘭フリル【撃破】!!!

彩花 「タ、ターンエンド……」

彩花の手札5／ゲージ0／ライフ5

美沙 「直々に頼んで来るから、どんな実力かと思ったら……期待外れ。終わらせるわ、私のターン。ドロ、チャージ&ドロ」

美沙の手札3↓4／ゲージ2↓3

美沙 「キャストへ天竜開闢」効果で2枚ドロ。そして……ゲージ3を払って、グレイシャーズイーガーを進化」

美沙の手札4↓3↓5↓4／ゲージ3↓0／ライフ7↓5

彩花「まだ強くなるの!？」

美沙「あらゆる衝撃を受け止め、粉碎し……凍てつかせる。その力で天をも割れ……
〈グレイシャーズイーガー〉”クレバスウェイブ”

グレイシャーズイーガー”クレバスウェイブ”

フラッグ：エンシエントワールド

種類：モンスター 属性：ドラゴンロード／神

サイズ3／攻8000／防6000／打撃2

■【「コールドコスト」】君の場のカード名に「グレイシャーズイーガー」を含むモンスター1枚の上に重ね、ゲージ3を払う。

■”大氷壁” 【対抗】このモンスターが相手のモンスターか、アイテムの効果の対象になった時、手札1枚を捨てて、ライフを払う。払ったら、そのカードの能力を無効化して、このカードの防御力+3000!

【2回攻撃】【ソウルガード】

FT『氷の壁はあらゆる衝撃でも砕けない』

彩花「さらに強くなるの……」

美沙「バトルよ……グレイシャーズイーガーで彩花さんに攻撃」

彩花「きやあ！」

彩花のライフ5↓3

美沙「【2回攻撃】……彩花さんに攻撃」

彩花「キヤツ！」

彩花のライフ3↓1

グレイシャーズイーガーの2回目の攻撃を受けた途端、彩花の身体が吹き飛び、ステージ背後の扉に背中を打ち付けられた！

彩花「ぐうっ！」

陽波／彩華「彩花ちゃん！」

美沙「何？この程度？」

倒れている彩花を見下ろすように睨む美沙。無理も無い……自信満々に挑んだは良いものの、実際は手も足も出ない状況になっているのだから！

彩花「……わ、私は……負けたく……ない！」

美沙「イテツキの効果で、デツキの上から1枚を破棄。それにより、ミスリルの攻撃力ー3000、防御力ー3000するわ」

輝きの制服少女 ミスリル

攻6000↓3000／防3000↓0

美沙「行くわよ……イテツキで彩花さんに攻撃、これでフィニッシュよ」

彩花「……私は……諦めない！キャストへ正義の盾は砕けない！〜！連携攻撃では無い攻撃を無効化！」

彩花の手札5↓4

美沙「私はこれでターンエンド」

美沙の手札4／ゲージ0／ライフ5

彩花「……私の、ターン……ドロー、チャージ&ドロー……！」

彩花の手札4↓5／ゲージ0↓1

彩花は勢いよくデツキケースからカードをドローする！そのカードは……へミスリル

”シャイニング・ブラスター!!”だった!

彩花「行くよ……ミスリル!」

ミスリル『はい!』

彩花「先ずはミスリルの効果!手札1枚を破棄して、グレイシャーズイーガーの能力を無効化!」

彩花の手札5↓4

美沙「……」

彩花「ゲージ1を払ってキャストへそろそろ本気を出すぜ!」カード2枚をドロ!さらにキャストへハイパーエナジー!効果でゲージ+4!」

彩花の手札4↓3↓5↓4/ゲージ1↓0↓4

水無子『おおーっと!彩花選手は、ここでゲージと手札をフルに活かして戦況を立て直したく……だが、能力を無効化しただけでは、美沙選手は止まらない!ここからどうするというのがか!』

美沙「イテツキの効果で、デツキの上から1枚を破棄。それにより、ミスリルの攻撃力と防御力を—3000するわ!」

輝きの制服少女 ミスリル

攻60000↓30000／防30000↓0

美沙「ライフが危険域にある貴女に、ここから何ができるのかしら？」

彩花「ゲージを払ってレフトにコールへ制服少女 ハ克蘭フリル！登場した時、私の場に他の《ヒロイン》があるなら、相手の場のモンスター一枚を破壊！破壊するのは……グレイシャーズイーガー！」

彩花の手札4↓3／ゲージ4↓3

美沙「ライフ3を払ってキャストへ絶氷竜壁」効果でグレイシャーズイーガーを相手のカードの効果による破壊を全て無効化するわ」

美沙の手札4↓3／ライフ5↓2

彩花「そこっ！ゲージ2を払ってキャストへ……という夢を見たのさ！〜！相手が使った魔法を無効化！」

彩花の手札3↓2／ゲージ3↓1

美沙はグレイシャーズイーガーを護る為に《絶氷竜壁》をキャストしたが、彩花の使ったへ……という夢を見たのさ！〜で無効化された！

美沙「……………」

彩花「これで…………グレイシャーズイーガーを破壊！」

グレイシャーズイーガー【撃破】!!!

美沙「…………やるわね」

彩花「行きます！ミスリルで美沙ちゃんに攻撃！これでフィニッシュです！」

美沙「…………フツ、認めましょう」

美沙のライフ2↓0

ゲームエンド！WINNER、五月雨彩花！

—————

〔創明学園高等学校：生徒会室〕

美沙「…………はい、これでOKよ」

美沙は自らの名前を記した創部申請書に印鑑を押した。そして彩花に一言告げる。

美沙「これで正式に『バディ部』は我が創明学園高等学校の部活動となりました。これからの活躍に期待してます」

彩花「ありがとう、美沙ちゃん！」

彩華「良かったね、彩花ちゃん！」

陽波「最後はヒヤヒヤしたよ」

美沙「新しい部室については、明日伝えるわね。今日は下校してくれるかしら？」

3人『はい！』

そう言つて3人は校舎を後にする。……だが、この時の3人は知らなかった。この後に衝撃的な運命の出会いをする事に！

スクールバディ杯 松カッパ

#10. 「始まりの警鐘」

激しいファイトの末、何とか白雪美沙に勝利を収めた彩花。……その翌日の放課後……。

「バディ部部室」—————

陽波「意外と、綺麗だね〜」

美沙「当然よ。これから私たちが、色々な歴史を刻んでいく場所なのよ？ 使い易い場所にするのは当たり前」

陽波が部室の状態に驚いており、美沙はそれをさも当然と言わんばかりの態度で返す。それを見た彩花は、こう言い放つ！

彩花「よし！ 経った今から、バディ部の活動を開始します！」

美沙「ちよつと待って」

彩花「ん？ どうしたの？」

美沙 「このバディ部の創立を、最初に思いついた人は？」

彩花 「え？」

美沙が問った内容に未だ気付く様子のない彩花。……すると美沙は溜息を吐きながら言い換える。

美沙 「言い出しつぺは誰か、と聞いているの」

彩花 「い、言い出しつぺ？」

彩花がキョトンとした顔で復唱すると、それを聞いた陽波と彩華が顔を見合わせて、ある人物を一斉に見る。

陽波 「そりやあ、まあ……彩花ちゃんだよね」

彩華 「うん、彩花ちゃんだよね」

美沙 「じゃあ……部長は彩花さん、つて事で良いのよね？」

3人から一斉に目を向けられた彩花は、驚いた様子を見せながら少したじろぐ。

彩花「え？あ、……私!？」

陽波「それはそうだよね」

彩華「言い出しつぺですからね〜」

彩花「部長は私より、才色兼備でファイトが強い美沙ちゃんが良いと思うけど……」

彩花は横目で美沙を見ながらそう答える。……すると美沙はまたも当然と言わんばかりの態度で返す。

美沙「あら？才色兼備でファイトが強いこの私に、貴女は勝つたのよ？……それなら、尚更彩花さんが部長でいいのでは？」

陽波「うんうん、頑張れ〜彩花ちゃん部長〜！」

彩花「うう……わかったよ〜」

そう言いながら、彩花は奥に設けられたパソコンのある机の近くにある椅子に座る。それに倣って3人は長机の近くにある椅子に座る。……座つたのを見て、美沙が話し始める。

美沙 「それで？バディ部の活動って何をするの？目指す物は？」

彩花 「それは勿論……日本一だよ！」

陽波 「スケールが大きくなったよ？」

彩華 「彩花ちゃんらしいね」

美沙 「日本一……？」

彩花 「うん！その為の第一歩として……この大会に出るよ！」

彩花は通学カバンの中を探る。……暫くすると、3人に見えるように紙を見せる！それを見た3人は目を丸くした！

—————

『スクールバディ杯 松カップ』

日本のバディ部よ……集え！

《実施内容》

①予選は全国を3ブロックに分け、各ブロックの予選を勝ち抜いた3チームで決勝を争う。最終リーグを突破した1チームのみが優勝。

②「予選」各地域で行なわれる公認のシヨップ大会にて先に五連勝を治める事。（優勝

でなくてはならない)

③〔本戦〕先に五連勝を収めた16チームを抽選で振り分け、トーナメントを行なう。各試合違うメンバーが参加をしなければならない。

④〔最終リーグ〕総当たり戦にて行なう。シンプルに勝ち数の多いチームの優勝。試合の結果は……勝ちの場合は勝ち点2、負けた場合は負け点2を振り分ける。同数で並んだ場合は、総合残りライフの多いチームが優勝。

《予選開始日》 3週間後の5月1日

《本戦開始日》と《最終リーグ開始日》は、各日程が終了次第発表

《参加人数》 2人以上の1チーム4人まで

陽波 「凄いね〜」

美沙 「流石……全国を相手にするととなると、規模も違うわね」

彩華 「頑張ろっ、彩花ちゃん！」

彩花 「それじゃあまずはい！3週間後の予選に向けて……特訓だ〜！」

3人『はい（ええ）！』

「相棒学園中等部：バディ部部室」

？「遂に開かれるんだ……バディファイトの大会が！」

？「どんな相手が来ようと、俺たちが必ず勝つ運命だ」

？「んもう！そういう慢心が油断に繋がるの！ね？アマテラス」

1人の女子がそう言うと、カードから1人の女性……と言うよりも猫が現れた。

アマテラス『そうですね……それに、私たちが知らない相手もいるのですから』

？『智夏よ……我らの目標は、分かっているな？』

智夏「うん、分かっているよ？デイス……私たちは、絶対に負けない！目指すは日本一

！」

ここにも来るスクールバディ杯に向けて、闘志を燃やしている者たちがいた。

#11. 「特訓開始！」

「キャツスル：シヨップエリア」

彩花「んー……どれにしようかな」

彩華「迷っちゃうね」

陽波「……なんでここに来てるの？」

活動開始を宣言した彩花たち創明学園高等学校バディ部は、特訓の為にカードシヨップ『CASTLE』へと訪れていた。

美沙「……それで？特訓はどうしたの？」

彩花「まずはデツキの見直しから！そういう訳で、皆のデツキの特性を知る為に、こ
うやって足を伸ばしているんだよ！」

陽波「じゃあ私は向こうで、ファイトに付き合ってくれる人を探して来るね」

未だにカードパックを眺めている2人と立ち尽くしている1人にそう告げて陽波は

フアイトステージの近くへと行ってしまおう。

美沙「私も混ぜてもらっていいかしら？」

彩花／彩華「うん！」

暫く立ち尽くしていた美沙は我慢の限界に達したのか、カードパックを眺めている2人に声を掛けて合流した。……暫くして。

—————

彩花「ああ……また良いカードが来なかった」

彩華「また次があるよ！」

美沙「あら？……良いわね、このカード」

3人が各々引き当てたカードを見ると、ある人物が声を掛けてきた！

？「ちよつといいか」

彩花「なあに？」

？「俺とフアイトしろ」

彩華「良いですけど、貴方は？」

彩華が目の前の人物に名前を問うと、その人物は自らの名前を名乗り始める。

？「俺は黒渦ガイト、よろしく頼む……そしてバディはへ逆天の黒死竜 アビゲールだ」

アビゲール『よろしく頼む』

彩花「私は五月雨彩花、よろしく！」

彩華「私は植木彩華です、よろしくね」

美沙「私は白雪美沙、よろしく」

互いに自己紹介を済ませた所で、本筋に戻る為にガイトは話し始める。

ガイト「それで……誰が俺とファイトするんだ？」

彩華「私を受けるよ」

ガイト「よろしく頼む」

挨拶を済ませた2人はファイトステージへと歩いて行く。それを見た2人はあとを付いて行く。

—————

「キャツスル：ファイトステージ」

ガイト「始めるぞ」

彩華「周り巡るは星の導き……ルミナイズ《ギャラクシー^{トライアングル}》!!!」

ガイト「キサマの運命は、俺が決める……ルミナイズ《ゼツメイノ黒竜》!!!」

オープンTHEフラッグ!!!

彩華「スタードラゴンワールド！」

彩華の手札6／ゲージ2／ライフ10

バディ《天占竜 クロス・アストルギア》

ガイト「ダークネスドラゴンワールド」

ガイトの手札6／ゲージ2／ライフ10

バディ《逆天の黒死竜 アビゲール》

？『彩華、今日もよろしくお願いします』

彩華「宜しくね〜クロス〜」

クロス『私の占いでも、勝者は彩華だと出ています。いつも通りにやれば勝てますよ』

彩華「分かりました〜」

ガイト「俺のターン……ドロー、チャージ&ドロー」

ガイトの手札6↓7／ゲージ2↓3

ガイト「センターにへ黒き同伴者 ベフェゴルをコール」

ガイトの手札7↓6

黒き同伴者 ベフェゴル

サイズ2／攻4000／防4000／打撃3

ガイト「ベフェゴル、ファイターに攻撃」

彩華「うう！」

彩華のライフ10↓7

ガイト「ファイナルフェイズ……ライフ3を払ってへ死デスの宣告
 へ鎮魂歌レクイエムを【設

置】

ガイトの手札6↓5／ライフ10↓7

「……」
彩花「へ死の宣告　〜鎮魂歌〜……確か【設置】型の必殺技だよね」

美沙「ええ……彩華さんは、残り3ターンの間に勝負を付けないと行けなくなりましてね」

「……」

「……」
ガイト「これで俺はターンエンド」

ガイトの手札5／ゲージ3／ライフ7

「TURN CHANGE」

彩華「私のターンです！ドロー、チャージ&ドロー！」

彩華の手札6↓7／ゲージ2↓3

彩華「キャストへスタージャック・ブースト」効果でゲージ＋1して1枚ドロー！次に……ゲージ1を払って装備へ占弓　バビロン！！！！」

彩華の手札7↓6↓7↓6／ゲージ3↓4↓3

「……」

占弓　バビロン

フラッグ：スタードラゴンワールド

種類：アイテム　属性：天球竜／アイテム

攻6000／打撃2

■【装備コスト】ゲージを払う。

■このカードは君のセンターに《天球竜》がいても攻撃できる。

■このカードが攻撃した時、君のセンターとレフトに《天球竜》がいるなら、そのター
ン中、このカードは『2回攻撃』を得る。

FT「弓もまた、占いの道具。」

—————

彩華「私の実力は……ここからです！」

#12. 「占いし星の竜」

〈途中経過〉

ガイトの手札5／ゲージ3／ライフ7

センターへ黒き同伴者 ベフエゴル

レフト／ライト／アイテム：無し

設置へ死の宣告 　　鎮魂歌

彩華の手札6／ゲージ3／ライフ7

センター／レフト／ライト：無し

アイテムへ占弓 バビロン

設置：無し

—————

彩華「今日もよろしくお願いします！ゲージ2を払って、デッキの上から1枚をソウルに入れてセンターにバディコール！」

彩華の手札6↓5／ゲージ3↓1／ライフ7↓8

「ガイト「相手はバディを早速出してくるか」

「アビゲール『力を見極めるぞ、ガイト!』」

「ガイト「ああ」

彩華「天に昇りし竜は、先の展開をも占う……へ天占竜 クロス・アストルギア!!!」
 クロス『私の出番ですね……共に勝利へと参りましょう、彩華!』

—————

天占竜 クロス・アストルギア

フラッグ：スタードラゴンワールド

種類：モンスター 属性：天球竜

サイズ2／攻6000／防5000／打撃2

■【コールコスト】ゲージ2を払い、君のデッキの上から1枚をソウルに入れる。

■『ギャラクシーフ』君のセンターとレフトに《天球竜》がいて、君が《天球竜》のアイテムを装備しているなら、君の場のカード全ての打撃力+1し、『貫通』を得る。

【2回攻撃】【ソウルガード】

—————

彩華「さらにレフトにへ管屋竜 フレットをコールです!登場した時、私の場に他

の《天球竜》があるなら、ゲージ+2して1枚ドロ—!」

彩華の手札5↓4↓5 / ゲージ1↓3

—————

管星竜 フレット

フラッグ：スタードラゴンワールド

種類：モンスター 属性：天球竜

サイズ1 / 攻3000 / 防1000 / 打撃1

■このカードがレフトに登場した時、君の場に他の《天球竜》があるなら、君のデッキの上から2枚をゲージに置き、カード1枚を引く。

—————

彩華「キャストへ布告「占闘補給」の効果でゲージ+2してライフ+1、カードを2枚ドロロー！さらにゲージ2を払ってライトにへ占闘竜 アージェント・オール」をコール！」

彩華の手札5↓4↓6↓5 / ゲージ3↓5↓3 / ライフ8↓9

—————

布告「占闘補給」

フラッグ：スタードラゴンワールド

種類：魔法 属性：天球竜

■君の場に《天球竜》のモンスター2枚以上がいて、君が《天球竜》のアイテムを装備しているなら使える。

■君のデッキの上から2枚をゲージに置き、君のライフを＋1し、カード2枚を引く。
「布告「占闘補給」」は1ターンの1回だけ使える。

――

占闘竜 アージエント・オール

フラッグ：スタードラゴンワールド

種類：モンスター 属性：天球竜

サイズ3／攻7000／防5000／打撃2

■【「コールコスト」】ゲージ2を払い、君のデッキの上から1枚をソウルに入れる。

■君のセンターに《天球竜》がいるなら、レフトかライトのこのカードのサイズを3減らす。

■このカードが登場した時、君が《天球竜》のアイテムを装備しているなら、相手の場のカード1枚を破壊する。

【2回攻撃】【ソウルガード】

――

彩華 「……行きますよ！ 『ギャラクシー フオーメーション F』 発動！」

彩華がそう宣言した瞬間、センターのクロスと彩華の装備しているバビロンに線が結ばれ、さらにレフトにいるフレットに線が集中した！

彩華「まずはアージェントの効果！私のセンターに《天球竜》がいるので、アージェントのサイズを3軽減！」

アージェント・オール／サイズ3↓0

彩華「次です！アージェントの更なる効果！登場した時、私が《天球竜》のアイテムを装備しているなら、相手の場のカード1枚……即ちへ死の宣告 く鎮魂歌くを破壊します！」

へ死の宣告 く鎮魂歌く【ドロップ】!!!

ガイト「くっ……」

彩華「行きます！クロスでベフェゴルに攻撃！」

ガイト「キャストへミッドナイト・シャドウ」効果で連携でない攻撃を無効化！」
 ガイトの手札5↓4

彩華「クロスの【2回攻撃】……ベフェゴルに攻撃します！」

ガイト「キャストへエネミーウオール」効果で相手のデッキの上から2枚を破棄、その中にモンスターがあるなら攻撃を無効化してゲージ+1」

ガイトの手札4↓3

—————

彩華が破棄したカード

① へマーズバリア

② へ護占竜 ギユールズ・ベンド

—————

ガイト「攻撃を無効化してゲージ+1」

ガイトのゲージ3↓4

彩華「次です！アージェントでベフェゴルに攻撃！」

黒き同伴者 ベフェゴル【撃破】!!!

ガイト「ベフェゴルの破壊時効果で、お互いのデッキの上から2枚を破棄して、俺のライフ＋1」

ガイトのライフ7↓8

彩華「アージェントの【2回攻撃】……ファイターに攻撃します！」

ガイト「キャストへ刃ノ黒衣」攻撃を無効化して相手のデッキの上から1枚を破棄」

ガイトの手札3↓2

彩華「フレットでファイターに攻撃！」

ガイト「キャストへドラゴンシールド 黒竜の盾」効果で次に受けるダメージを0にしてライフ＋1」

ガイトの手札2↓1／ライフ8↓9

彩華「行きます……シユート！」

彩華はバビロンに番えた矢を天空へと打ち上げる。すると、打ち上げられた矢は空で勢いを増して、ガイトへと襲いかかって来た！

ガイト「がはっ！」

ガイトのライフ9↓6

彩華「【2回攻撃】……シユート！」

ガイト「ぐっ！」

ガイトのライフ6↓3

彩華「……行きますよ、ファイナルフェイズ！ゲージ3を払ってキャスト！」

彩華の手札5↓4／ゲージ3↓0

彩華がファイナルフェイズを宣言した瞬間、辺りが星空に包まれ、バビロンに矢を番えた彩華が相手を狙い澄ましていた！それに呼応するかのように、クロスの翼が弓の動きを見せた！

彩華「必殺……！トライスターデイシジョン〈裁き告げる三ツ星〉!!!」

彩華が必殺技の名前を叫んだ瞬間、力を込められたバビロンの矢とクロスの光の矢が共にガイトへと放たれた！

—————

トライスターデイシジョン
裁き告げる三ツ星

フラッグ：スタードラゴンワールド

種類：必殺技 属性：天球竜

■相手のライフが5以下で、君のセンターとレフトに《天球竜》がいて、君が《天球竜》のアイテムを装備しているなら使える。

■【使用コスト】ゲージ3を払う。

■相手にダメージ5!!

—————

ガイト「うわあああ!!!」

ガイトのライフ3↓0

ゲームエンド! WINNER、植木彩華!

ガイト「お前……強いな」

彩華「貴方こそ強かったですよ」

ガイト「また手合わせを願いたい物だ。今度はこのような形ではなく、大会で」

彩華「そうですね、私も楽しみにしてますね」

そうやって2人は手を取り合った。そしてそれを羨ましそうに見詰めている少女が

いた。

？「あーあー……私もフアイトしたいなあ〜」

？『次は我らが挑んで見るか？智夏』

智夏「うん！……なんだか、待ち切れなくなってきた！やった！探しに行こつ！デイス

！」

デイス『ウム』

13. 「陽波VS智夏」

ガイトとの戦いを終え、意気揚々とした面持ちで戻って来た彩華。それを見た彩花たちは、彩華の健闘を称える。

彩花「凄かった、凄かったよ！彩華ちゃん！」

彩華「ありがとう！」

？「本当に凄かったよ……」

突然誰かの声が聞こえた為、4人は思わず身構える。するとそこには一人の少女が立っていた。

？「ガイトくんがやられちゃったか……まつ、また鍛え直せば良いだけけど！」

美沙「失礼ですが……貴女は？」

？「あー名乗って無かったね……私は盛谷智夏！よろしくお願いします！」

3人『!?』

智夏が自分の名前を名乗った時、彩花を除く3人は驚愕の表情を浮かべた！そんな中、状況を呑み込めてないこの人物はと言うと……。

彩花「え？どういう事？」

3人『はあーっ……』

陽波「彩ちゃん……智夏ちゃんの苗字を聞いて、何とも思わないの？」

彩花「み、苗字？……えっと、確か……」

何とか苗字を思い出そうとしている彩花を、美沙がフォローする形で補足する。

美沙『『盛谷』です。智夏さんは、あの有名なバディファイターである盛谷颯樹さんの娘ですよ！』

彩花「は、はあ……」

智夏「私もまだ知られてなかったんだ……ちよつと反省」

美沙から飛び出して来た情報が『有名なバディファイターの父の娘』という物だった

ので、少し落ち込んでしまった智夏。気を取り直して、4人に顔をむける。

智夏「私とファイトしよ！誰がいい？」

陽波「貴女には負けてばかりだったから……リベンジさせて！私とファイトよ！」

智夏「良いよ！やろっか！」

そう言つて智夏と陽波はファイトステージへと場所を移す。そして……互いにふたりは向かい合う。

陽波「絶対に負けない！」

智夏「良いよ！やろっか！」

陽波「煌めく星の竜は、さらに強く輝いて……自らを護る障壁となる！ルミナイズ《スター・プロテクト》!!!」

智夏「闇に潜みし神よ……禍々しき風格を纏わせ、全てを地に墮とせ！ルミナイズ《闇の神竜》!!!」

オープンTHEフラッグ!!!

陽波「スタードラゴンワールド！」

陽波の手札6／ゲージ2／ライフ10

バディ《サンクチュアリドラグナー聖域星竜 エミリアーノ》

智夏「ダークネスドラゴンワールド！」

智夏の手札6／ゲージ2／ライフ10

バディ《デイストーション・ドラゴン》

—————

店長「おおっ……今回は、智夏ちゃんと陽波ちゃんの戦いだね」

彩花「2人って……一体、どんな関係なんですか？」

店長「2人はね、このカードショップ『キャッスル』のトップ3なんだよ」

美沙「なるほど……2人はこのショップでは、12を争う実力の持ち主なのですね」

—————

〔TURN1〕〔先攻：智夏〕

智夏「私の先攻で行くよ！ドロー、チャージ&ドロー！」

智夏の手札6↓7／ゲージ2↓3

智夏「ライフ1を払って〈絆の暗黒剣 イヴィル・パニッシャー〉を装備！」

智夏の手札7↓6／ライフ10↓9

—————

絆の暗黒剣 イヴィル・パニッシャー

フラッグ：ダークネスドラゴンワールド

種類：アイテム 属性：闇竜／武器

攻5000／打撃2

■【装備コスト】ライフルを払う。

■君の場の《闇竜》が破壊された時、そのターン中、このカードの打撃力＋1！この効果は1ターンに1回だけ使える。

■このカードが君の場のカードの効果で破壊された時、君の場に《闇竜》がいるなら、カード1枚を引く。

FT 『傷つけ、傷つく事こそ、私たちの絆』

—————

智夏 「行くよ！イヴィル・パニッシャーで陽波ちゃんに攻撃！」

陽波 「くうっ！」

陽波のライフ10↓8

智夏 「私はこれでターンエンド！」

智夏の手札6／ゲージ3／ライフ9

ー「TURN CHANGE」ー

【TURN2】〔後攻：陽波〕

陽波「相も変わらず……やるね！私のターン！ドロ、チャージ&ドロ！」

陽波の手札6↓7／ゲージ2↓3

陽波「キャストへスタージャック・ブレストでゲージ＋1して1枚ドロ！そして……ゲージ2を払って、センターにバディコール！」

陽波の手札7↓6↓7↓6／ゲージ3↓4↓2／ライフ8↓9

智夏「来るね……！あのモンスターが！」

ー

彩花「いきなり!？」

美沙「「最初から全力」という事ですね」

ー

陽波「聖域より君臨せし星竜よ……その力で、全ての敵を抑圧せよ！へ聖域星竜 エ

ミリアーノ！」

エミリアーノ『智夏……最初から全力で行きますよ！覚悟して下さいね!』

ー

聖域星竜 エミリアーノ

フラッグ：スタードラゴンワールド

種類：モンスター 属性：ネオドラゴン

サイズ3／攻7000／防8000／打撃2

■【「コールコスト」】君のドロップゾーンのカード1枚と君のデッキの上から1枚をこのカードのソウルに入れ、ゲージ2を払う。

■このカードがセンターにいるなら、君は相手のカードの効果によるダメージを受けない。

■このカードのソウルにカードがあるなら、相手はこのカードの攻撃に対して【対抗】を使えない。

【ソウルガード】

—————

〔ソウルに入れたカード〕

《聖装機 E・アブソーバー》（デッキ）

《スタージャック・ブースト》（ドロップ）

—————

智夏「（見た事の無い《聖装機》……気を付けなきゃ）」

陽波「まずはソウルにあるへ聖装機 E・アブソーバー」の効果！カード名に「エミリアーノ」を含むモンスターのソウルにあるので、攻撃力と防御力を+3000、打撃力を+1！」

—————

セイントアームズ
聖装機 E・アブソーバー

フラッグ：スタードラゴンワールド

種類：モンスター 属性：竜装機

サイズ1／攻4000／防1000／打撃1

■このカードがカード名に「エミリアーノ」を含むモンスターのソウルにあるなら、そのカードの攻撃力+3000、防御力+3000、打撃力+1！

FT『聖装機……それは、エミリアーノの下に集いし聖なる竜装機。その中でもアブソーバーは、火力重視の聖装機である。』

—————

陽波「バトル！エミリアーノで智夏ちゃんに攻撃！……エミリアーノの効果は、言わずともわかってるよね？」

智夏「もちろん！……ううっ！」

智夏のライフ9↓6

陽波 「私はこれでターンエンド！」

陽波の手札6 / ゲージ2 / ライフ9

ー「TURN CHANGE」ー

【TURN 3】「先攻：智夏」

智夏 「そうでなくっちゃ！私のターン！ドロ、チャージ&ドロ！」

智夏の手札6 ↓ 7 / ゲージ3 ↓ 4

#14. 「煉獄の神」

《途中経過》

智夏の手札6／ゲージ3／ライフ6

センター／レフト／ライト：無し

アイテムへ絆の暗黒剣 イヴイル・パニッシャー

設置：無し

—————

陽波の手札6／ゲージ2／ライフ9

センターへ聖域星竜 エミリアーノソウル2

レフト／ライト：無し

アイテム／設置：無し

—————

【TURN3】〔PL：智夏〕

智夏「そうでなくっちゃ！私のターン！ドロ、チャージ&ドロ！」

智夏の手札6↓7／ゲージ3↓4

智夏 「ゲージ1を払ってへアビス・シンフォニアをキャスト！効果でカードを2枚ドロ―！さらにへアクセル・エンドをキャスト！効果で私のデッキの上から5枚を破棄してゲージ+1！」

智夏の手札 7↓6↓8↓7 / ゲージ 4↓3↓4 / ドロップ 0↓1↓2↓7↓8

――

彩花 「自分のドロップを増やした!？」

美沙 「……何を考えているの?」

彩華 「……」

――

智夏 「ゲージ2を払って、私のデッキの上から5枚を破棄してへ煉獄竜 アビサル・

ページンをレフトにコール！」

智夏の手札 7↓6 / ゲージ 4↓2 / ドロップ 8↓10↓15

ページ 『オレの出番か……智夏の勝利の為に、我が力を貸そう』

――

煉獄竜 アビサル・ページ

フラッグ：ダークネスドラゴンワールド

種類：モンスター 属性：闇竜

サイズ1／攻50000／防30000／打撃2

■君の場に《闇竜》のカードがあるならコールできる。

■【「コールコスト」】ゲージ2を払い、君のデッキの上から5枚をドロップに置く。

■このカードが登場した時、君のデッキとドロップからカード名に「デイストーション」を含むカード1枚ずつ手札に加える。その後、君のデッキをシャッフルする。

■君の場に〈D・EVO〉でモンスターが登場した時、相手のセンターのモンスター1枚をデッキの一番下に置く。

—————

智夏「アビサル・パージの効果で、デッキとドロップから……カード名に《デイストーション》を含むモンスター1枚ずつを手札に……私が加えるのは、この2枚！」

智夏の手札6↓8／ドロップ15↓14

—————

《手札に加えたカード》

① 〈デイストーション・ドラゴン〉（デッキ）

② 〈デイストーション・ドラゴン ”モード・ジエノサイド”〉（ドロップ）

—————

陽波（く……来る！）

智夏「行くくよー！ゲージを払い、私のデッキの上から1枚をソウルに加えて……

〈「デイス トーション・ドラゴン」をライトにバディコール！〉

智夏の手札8↓7／ゲージ2↓1／ライフ6↓7

デイス『ウム、我の出番か』

ー

デイス トーション・ドラゴン

フラッグ：無し

種類：モンスター 属性：闇竜／ドラゴッド

サイズ2／攻7000／防4000／打撃2

■このカードは全てのフラッグで使える。

■【「コールコスト」】ゲージを払い、君のデッキの上から1枚をこのカードのソウルに入れる。

■【「対抗」】【「起動」】君の場のカード1枚を破壊してよい。破壊したら、君のデッキの上から1枚をゲージに置き、このカードをスタンドする。この効果は1ターンに1回だけ使える。

■〈「D・EVO」〉このカードのバトル終了時、君のドロップの《「ドラゴッド」》のモンスター1枚までを、【「コールコスト」】を払わず、このカードの上に重ねてコールする。

【ソウルガード】

FT 「我が名は、煉獄の神——ディストーション・ドラゴン也！」
なり

—————

陽波 「来たね……ディストーション・ドラゴン！」

智夏 「続けてへクロス・パニツシユメント」をキャスト！このカードは私のドロップが、相手よりも多いなら使えるよ！」

智夏の手札7↓6

—————

クロス・パニツシユメント

フラッグ：ダークネスドラゴンワールド

種類：魔法 属性：闇竜／チャージ

■君のドロップが相手よりも多いなら使える。

■お互いのデッキの上から10枚をドロップに置く。その後、君のデッキの上から2枚をゲージに置き、相手のゲージを1枚ドロップに置く。「クロス・パニツシユメント」は1ターンに1枚だけ使える。

—————

智夏 「お互いのデッキの上から10枚を破棄！さらに……私のゲージ+2して、陽波

ちゃんの一番手前のゲージを破壊！」

智夏のゲージ1↓3 / ドロップ14↓24

陽波「そんなっ！」

陽波のゲージ2↓1 / ドロップ2↓12

智夏「バトル！アビサル・ページとデイスでエミリアーノに連携攻撃！」

聖域星竜 エミリアーノ【撃破】!!!

陽波「ソウルガード！続けて……ライフをコストにキャスト〈結晶化現象〉効果でカードを1枚ドロロー！さらに〈デイストーション・ドラゴン〉を選択し、そのカードの能力を全て無効化し……そのカードを行動不能にする！」

陽波の手札6↓5↓6 / ライフ9↓8

聖域星竜 エミリアーノ：ソウル2↓1

（破棄カード《スタージャック・ブースト》）

智夏「う、嘘!？」

デイス『う、動けぬ……』

陽波「どうよ！」

智夏「……とでも言うと思ったわけ？」フフツ

陽波「んな!!」

先程……陽波が唱えた〈結晶化現象〉は、選択したモンスター1枚の効果を全て無効化する能力がある。即ち【ソウルガード】や〈D・EVO〉でさえも封じてしまうのだ。このカードを使った陽波は勝利を確信していたのだが……？

智夏「〈結晶化現象〉を使った位で……浮かれてない？ちよつとその気を正さなきゃ♪
〈歪みの変貌〉をキャスト！」

智夏の手札6↓5

4人「〈歪みの変貌〉!？」

—————

歪みの変貌

フラッグ：ダークネスドラゴンワールド

種類：魔法 属性：闇竜

■ 君のドロップに《闇竜》5枚以上があるなら使える。

■ 【対抗】〈D・EVO〉君の手札の《ドラゴッド》のモンスター1枚までを、【コールコスト】を払わず、君の場の《ドラゴッド》のモンスター1枚の上に重ねてコールする。

FT 「歪みは形を変え、また襲いかかって来る。」

—————

智夏「へ歪みの変貌」の効果によって……〈D・EVO〉発動！チェンジ！〈デイスティオン・ドラゴン ”モード・ブレイズ”〉!!!」

智夏の手札5↓4

—————

デイスティオン・ドラゴン ”モード・ブレイズ”

フラッグ：ダークネスドラゴンワールド

種類：モンスター 属性：闇竜／ドラゴッド

サイズ2／攻8000／防5000／打撃2

■ 【コールコスト】ライフを払う。

■ このカードが登場した時、相手の場のモンスター1枚を破壊する。さらに〈D・EVO〉で登場した時、相手にダメージ1！

■【対抗】【起動】このカード以外の君の場のモンスター1枚を破壊する。破壊したら、君のデッキの上から1枚をこのカードのソウルに入れ、このカードの打撃力+1！この効果は1ターンに1回だけ使える。

【貫通】【ソウルガード】

FT「その竜が身に纏いし焔は……全てを無に帰す、終極の焔。」

—————

智夏「登場した時、相手の場のモンスター1枚を破壊する！……エミリアーノを破壊する！」

聖域星竜 エミリアーノ【撃破】!!!

陽波「そ、ソウルガード！」

聖域星竜 エミリアーノ：ソウル1↓0

(破棄カード《聖装機 E・アブソバー》)

智夏「デイスでエミリアーノに攻撃！」

聖域星竜 エミリアーノ【撃破】!!!

智夏「【貫通】ダメージ2！」

陽波「うっ！」

陽波のライフ8↓6

智夏「イヴィル・パニッシャーで陽波ちゃんに攻撃！」

陽波「うあっ！」

陽波のライフ6↓4

智夏「ファイナルフェイズ！キヤスト！へ神・デイストーション・パニッシャー!!」

智夏の手札4↓3 / ゲージ3↓0

—————

神・デイストーション・パニッシャー!!

フラッグ：ダークネスドラゴンワールド

種類：必殺技 属性：ドラゴッド／闇竜

■相手のライフが5以下で、君の場に《ドラゴッド》のモンスターがいるなら使える。

■【使用コスト】ゲージ3を払う。

■ 次の2つから1つを選んで使う。このカードは無効化されず、このカードのダメージは減らない。

・相手にダメージ5!!

・【対抗】”カウンターファイナル!!”相手のファイナルフェイズ中に、相手が必殺技を使った時に使える。相手にダメージ5!!

FT「絶無の剣を手にした少女は……全てを無に帰す、神の剣を無常にも振るう。」
 ーーーー

陽波「ま、また……負ける？」

智夏「必殺!!!
 へ神・デイストーション・パニッシャー!!!」

へ神・ガルガンチュア・パニッシャー!!!の剣を白くしたかの様な大剣を、智夏は平然と陽波目掛けて振り下ろした!そして辺りには砂塵が舞った!

陽波「うあああああつ!」

陽波のライフ4↓0

ゲームエンド! WINNER……盛谷智夏!

智夏 「ありがとう、楽しかったよ！」

陽波 「う、うん……」

智夏 「また、ファイトしようね！次に戦う時を、楽しみにしてるよ♪」

そう言って智夏は陽波の手を握る。その時の陽波の顔は……智夏の浮かべている顔とは正反対の表情が浮かんでいた……。

#15. 「バディ憑依！電神VSヒロイン！」

【前回までのお話】《ver. 陽波》

私たちは近々行なわれる『スクールバディ杯 松カップ』の為に特訓を開始しました！私の相手になったのは、嘗て大会で何度も戦った智夏ちゃん！リベンジに燃える私は、気持ちも新たに智夏ちゃんに挑みましたが、結果は惨敗……今の私に足りないのつて、何だろうか？

—————
ファイトを終えた智夏ちゃんと陽波ちゃんが私たちの元に戻って来ました。……
ファイトはとても熱い物だったにも関わらず、陽波ちゃんの顔が落ち込んでいました。

彩花「大丈夫？」

陽波「ありがとう……彩ちゃん、私は大丈夫だから」

美沙「無理はしないでくださいね」

陽波「ありがとう……彩ちゃん、今日はこの辺で帰るね……」

陽波ちゃんは私たちにそう告げて、トボトボと自宅へと向かって行きました。陽波ちゃん……どうしたんだろう？

智夏「ありやりやー……仕方ないっか」

ガイト「……で、どうするんだ？この流れだと、試合形式になってるが？」

彩花「私はまだやろうかな、他はどう？」

美沙「異論は有りません」

彩華「私も良いよ」

私が彩華ちゃんと美沙ちゃんに確認をとると、承諾を貰えたので……もう1戦する事になりました！

彩花「3戦目は私が行くよ!……そっちの相手は？」

？「それじゃあ、私が行こうかな！」

私の目の前に現れた女の子は、黒い髪をミディアムヘアにしており……色白の女の子でした!その女の子は、私を見据えると、自己紹介を始めました!

？「私の名前は篠崎しのさき 美咲みさき……よろしくね！」

？『私は《光の電神 アマテラス》です、よろしくお願ひします』

彩花「私は五月雨 彩花！よろしくね、美咲ちゃん！」

美咲「こちらこそ！」

そう言つて私たちは、常設ファイトステージへと向かいました！そしてお互いにポジシヨンに着きました！

美咲「あなたの力……見極めさせてもらうよ！」

彩花「分かつた！」

美咲「祓い給え、清め給え、守り給え……ルミナイズ《天御光》!!!」

彩花「正義を掲げし少女よ！己の信じる道を、真つ直ぐ突き進め……輝きに向かつて！ルミナイズ《シャイニング・ヒロイン》!!!」

オーブンTHEフラッグ！

美咲「カタナワールド!パディは《光の電神 アマテラス》!!!」

美咲の手札6 / ゲージ2 / ライフ10

パディ《光の電神 アマテラス》

彩花「ヒーローワールド!パディは《輝きの制服少女 ミスリル》!!!」

彩花の手札6 / ゲージ2 / ライフ10

パディ《輝きの制服少女 ミスリル》

—————

美沙「相手は《電神》……【憑依】の能力を使って、相手を翻弄するのが得意な属性」
彩華「どの様に戦うんだろ?」

—————

【TURN1】〔PL:美咲〕

美咲「先攻は私が貰うよ!ドロ、チャージ&ドロ!」

美咲の手札6 ↓ 7 / ゲージ2 ↓ 3

美咲「装備〈礼拝の神楽鈴〉!」

美咲の手札7 ↓ 6

—————

礼拝の神楽鈴

フラッグ：カタナワールド

種類：アイテム 属性：電神／武器

攻3000／打撃1

■お互いのメインフェイズ開始時、君の手札のサイズ3の《電神》1枚をこのカードの上に重ねてよい。重ねたカードは場から離れるまでアイテムとして扱う。

■お互いのターン終了時、アイテムのソウルはこのカードを装備し、装備していたカードを手札に戻す。

■場のこのカードとこのカードがソウルにあるアイテムは破壊されない。

■このカードがアイテムのソウルにあるなら、このカードはカードによって捨てられない。

FT（フレイバーテキスト）

「舞い清め、穢れを祓え。電神達が力となろう。」ver. ガチレア

「私だって、負けないんだから！」ver. 究極レア

—————

美咲「行くよ……神楽鈴で彩花ちゃんに攻撃！」

彩花「うっ！」

彩花のライフ10↓9

美咲「これで私はターンエンド!」

美咲の手札6 / ゲージ3 / ライフ10

—————

【TURN2】〔PL:彩花〕

彩花「私のターン!ドロ、チャージ&ドロ!」

彩花の手札6 ↓ 7 / ゲージ2 ↓ 3

私がメインフェイズを開始しようとした時、何処からか穢れを浄化するかの様な……凛とした鈴の音が聞こえ始めました!音のした方を見ると、美咲ちゃんが……持っていた鈴を右へ左へと振っていました!

彩花「何!?どうなってるの?」

美咲「へ礼拝の神楽鈴の効果発動!お互いのメインフェイズ開始時、私の手札にあるサイズ3の《電神》1枚をアイテムとして扱える!」

彩花「ええ!」

美咲「バディ憑依へ光の電神 アマテラス!!!」

美咲の手札6 ↓ 5 / ライフ10 ↓ 11

美咲ちゃんが『バディ憑依』を宣言した瞬間、隣に立っていたバディが美咲ちゃんと重なり、中に入って行きました！

美咲（アマテラス）『彩花さん……私はあなたを本気で迎え撃ちますので、そちらも手加減はしないで下さいね？』

彩花「私も絶対に負けない！」

美咲（アマテラス）『ふふつ、この勝負……どうなるのでしょうか？はてはて〜』
—————

光の電神 アマテラス

フラッグ：カタナワールド

種類：モンスター 属性：電神

サイズ3／攻0／防8000／打撃2

■【コールコスト】ゲージ2を払う。

■【対抗】【起動】次の2つから1つを選んで使う。この能力は1ターンに1回だけ使える。

・君のデッキの上から1枚をゲージに置き、そのターン中、このカードの攻撃力+8

000し、【2回攻撃】を得る。

・君のライフを+2し、カード1枚を引き、そのターン中、このカードの防御力+4000!

FT(フレイバーテキスト)

「全てのためくさに光と慈愛の導きを…」 ver. 超ガチレア

「貴方の元へお姉ちゃんが参りましたよ。」 ver. バディレア

—————

彩花「負けないよ、美咲ちゃん!キヤストへハイパーエナジー!効果でゲージ+4!そして……ゲージ2を払って、バディ変身!」

彩花の手札7↓6↓5/ゲージ3↓7↓5/ライフ9↓10

美咲「来るね……」

アマテラス『はい……お姉ちゃんは楽しみです、美咲ちゃんはどうかしら?』

美咲「私もワクワクしてる!こんな勝負、早々できるものじゃないよ!」

彩花「今日もよろしくね!へ輝きの制服少女 ミスリル!」

ミスリル『彩花……私と共に、勝利を目指しましょう!』

—————

輝きの制服少女 ミスリル

サイズ2 / 攻6000 / 防3000 / 打撃2

【変身】

—————

彩花「私の実力はここから……手加減なしで行くよ！準備は出来てる？」

16. 「穢れを祓いし電神」

〔一方……〕《side陽波》

私は智夏に負けた後、家へと続く道のりを歩いていました。……なんで負けたんだろ
う？

陽波 「はあく……」

エミリアーノ 『仕方ありませんよ。負けた事は変わりませんが、ここからさらに努力
するのみです』

陽波 「そうだけどさく」

エミリアーノの言葉に少しの安堵感を覚えた私でしたが、早々と癒されるモノではあ
りませんでした。

陽波 「（私にもあんな力があつたらな……）」

？ 『ソノノゾミ……カナエテヤロウ』

陽波／エミリアーノ「『誰!?!』」

背後からいきなり声を掛けられた私たちは、声が出た方を素早く向き直りました！するとそこには見たことの無いモンスターが浮かんでいました！

？『我はへ凶乱魔竜 ヴァニティ・骸・デストロイヤー』……《ロストワールド》のモンスターだ』

陽波「一体、私に何の用なの!?!」

エミリアーノ『一体いつから!』

デストロイヤー『お前には用はない、消え失せる……《スタードラゴンワールド》のモンスターよ。用があるのはその女だけだ』

デストロイヤーがエミリアーノに消える様に言いましたが、エミリアーノが当然それを聞き入れるはずも無くて……。

エミリアーノ『どうしてです！私は陽波のバディです！勝手な事を言わないで下さい！』

デストロイヤー『ふむ……良いだろう。話を戻すぞ、香野陽波よ』

陽波「どうして私の名前を！」

デストロイヤー『今までのファイトを全て見させてもらった。それで知ったに過ぎぬ』

何故デストロイヤーが私の名前を知っているのかを聞いたところ、当然の答えが返ってきました。それを話終えたデストロイヤーは私の目を見て、こう告げました。

デストロイヤー『香野 陽波よ……お前は強き力を持ちながら、仲間に支えられる事が多いだろう。お前には幼馴染みがいる筈だ……違うか？』

陽波「そ、そうだけど……」

デストロイヤー『お前は幼馴染みで、最近バディが出来たばかりの五月雨 彩花に少しながらも……嫉妬していたはずだ』

エミリアーノ『そ、そうなのですか!?!』

陽波「ど、どうして……貴方がそんな事を！」

デストロイヤー『凶星か』

言われた事に対して、言葉を詰まらせてしまう私。さらにデストロイヤーは続けました。

デストロイヤー『私の目は誤魔化せぬ……次第に強くなつて行く友を見て、疎外感を感じていたのだろう？無理も無い、その友をバディファイトに引き込んだのは、紛れもない……お前自身であろう』

陽波「……」

デストロイヤー『優しき心を持つ、正しき巫女よ……お前はもう、迷う必要も悩む必要も無い……己の赴くままに生きるのだ』

陽波「そんな事、出来るわけ……」

デストロイヤー『我なら出来る、と言えば？』

デストロイヤーの言葉は的を得ていました。……そうだ、私は誰かに縛られて生きてるんじゃない……私の為すがままに生きれば良いんだ！

陽波「良いよ……」

エミリアーノ『陽波!?!……どうしたのです!?!』

デストロイヤー『来い……お前に相応しき、力を与えてやろう』

私はデストロイヤーの言葉に魅了され、エミリアーノが止めるのもお構い無しに……
異次元へと身を預けました。

《陽波 side out》

――――
【ホビーショップ《Castle》】

彩華「大丈夫かな」

美沙「彩花さんを信じましょう」

――――
【途中経過】

美咲の手札5／ゲージ3／ライフ11

センター／レフト／ライト：無し

アイテム《光の電神 アマテラス》ソウル1

設置：無し

――――

彩花の手札5／ゲージ5／ライフ10

センター／レフト／ライト：無し

アイテム《輝きの制服少女 ミスリル》

設置：無し

—————

彩花「レフトにへ制服戦士 レーサーフリル」をコール！登場した時、私の場に《ヒロイン》があるなら、カードを1枚ドロ―！」

彩花の手札5↓4↓5

—————

制服戦士 レーサーフリル

サイズ1／攻2000／防1000／打撃2

【移動】

—————

彩花「ライトにへ制服戦士 ドクターフリル」をコール！」

彩花の手札5↓4

ドクターフリル『うへへ、悪党はまとめて解ほ……成敗してくれるわ〜！』

—————

制服戦士 ドクターフリル

フラッグ：ヒーローワールド

種類：モンスター 属性：ヒロイン

サイズ1／攻3000／防1000／打撃2

■このカードが破壊された時か手札に戻った時、相手の場のサイズ2以下のモンスター1枚を破壊し、君のライフ＋1！

【移動】

FT「うへへ、悪党はまとめて解ほ……成敗してくれるわ〜！」

—————

彩花「行くよ……バトル！」

美咲（アマテラス）『私の効果を発動します。ライフを＋2し、カード1枚をドロークして……私の防御力を＋4000します』

美咲の手札5↓6／ライフ11↓13

—————

光の電神 アマテラス／防8000↓12000

—————

彩花「……ターンエンド」

彩花の手札4／ゲージ5／ライフ10

アマテラス『では私は手札に戻りますね?』

美咲「ありがとう、アマテラス」

美咲の手札6↓7

—————

【TURN3】〔PL：美咲〕

美咲「私のターン! ドロー、チャージ&ドロー!」

美咲の手札7↓8 / ゲージ3↓4

美咲「へ礼拝の神楽鈴」の効果で、手札のサイズ3の《電神》1枚をアイテムとして扱う! 【憑依】……〈荒ぶる電神 スサノオ〉!!!」

美咲の手札8↓7

—————

荒ぶる電神 スサノオ

フラッグ：カタナワールド

種類：モンスター 属性：電神

サイズ3 / 攻10000 / 防4000 / 打撃3

■【コールコスト】ゲージ2を払う。

■【起動】ライフを払う。払ったら、次の2つから1つを選んで使う。この能力は

1ターンに1回だけ使える。

・ そのターン中、このカードは【3回攻撃】と【貫通】を得る。

・ 相手の場の魔法とアイテム全てを破壊する。

FT 「今度こそ、姉ちゃんに良い所を見せるんじやーっ！」

ーーーーー

美咲（スサノオ） 『フツ……』

彩花 「また……雰囲気が変わった！」

ミスリル 『気を付けてください……あのモンスターからは、強い気配を感じます！』

美咲（スサノオ） 『行くぞー！〈守護電獣 コマジ〉をレフトにコールじゃー！』

美咲の手札7↓6

ーーーーー

守護電獣 コマジ

フラッグ：カタナワールド

種類：モンスター 属性：電神

サイズ2／攻5000／防3000／打撃2

■ このカードが登場した時、君の場に《電神》のアイテムがあるなら、君のデッキの上から1枚をゲージに置き、君のライフ+2！さらに、そのアイテムにソウルがあるな

ら、カード1枚を引く。

FT「めんどくせーけど、やるかあ……」

—————

美咲（スサノオ）『コマジの能力で、ゲージ+1してライフ+2！さらに、アイテムにソウルがあるなら、1枚ドロージャ。ライトにへ守護電獣 コマイチをコールじゃ！』

美咲の手札 6 ↓ 7 ↓ 6 / ゲージ 4 ↓ 5 / ライフ 13 ↓ 15

—————

守護電獣 コマイチ

フラッグ：カタナワールド

種類：モンスター 属性：電神

サイズ1 / 攻3000 / 防1000 / 打撃2

■このカードが登場した時、君が《電神》のアイテムを装備しているなら、そのターン中、君の場の《電神》全ての攻撃力+3000！さらに、そのアイテムにソウルがあるなら、そのターン中、君の場の《電神》全ての打撃力+1！

FT「コマジ、さっさと起きてください。」

—————

美咲（スサノオ）『コマイチの能力を発動じゃ！』

彩花「そこっ！ミスリルの効果で、手札1枚を捨てる！そうしたら、相手の場のモンスタ―全ての能力を無効化！」

彩花の手札4↓3

美咲（スサノオ）『チイっ！なら……儂の効果発動！ライフ1を払って、【3回攻撃】と【貫通】を得る！』

美咲のライフ15↓14

—————

荒ぶる電神 スサノオ／【3回攻撃】／【貫通】

—————

美咲（スサノオ）『行くぞ……バトル！』

彩花「ドクターフリルをセンターに移動！」

美咲（スサノオ）『儂でドクターフリルに攻撃じゃ！喰らうが良いわ！』

彩花「キャストへ正義の盾は砕けない！」効果で連携でない攻撃を無効化！」

彩花の手札3↓2

美咲（スサノオ）『【2回攻撃】……儂の攻撃、その身に喰らうが良いわ！』

制服戦士 ドクターフリル【撃破】!!!

彩花「ドクターフリルの効果発動！破壊された時、相手の場のモンスター1枚を破壊して、私のライフ＋1！破壊するのは……へ守護電獣 コマイチ〜!!!」

彩花のライフ10↓11

守護電獣 コマイチ【撃破】!!!

美咲（スサノオ）『だが……【貫通】ダメージは受けてもらうぞ!』

彩花「うっ!」

彩花のライフ11↓8

美咲（スサノオ）『【3回攻撃】……儂の攻撃を、その身に受けてもらうぞ!』

彩花「うっ!」

彩花のライフ8↓5

美咲（スサノオ）『コマジ!』

コマジ『やれやれ……』

彩花「うっ!」

彩花の手札5↓3

美咲（スサノオ）『まだ終わらんぞ……〈電神祝祭〉をキャスト！それにより……儂をスタンドするぞ！』

美咲の手札6↓5

—————

電神祝祭

フラッグ：カタナワールド

種類：魔法 属性：電神／ゲット／強化

■ 次の2つから1つを選んで使う。

・ 君のデッキから《電神》のアイテム1枚までを手札に加え、デッキをシャッフルする。

・ 【対抗】 君の場の《電神》1枚をスタンドする。

FT 「キミに…決めた！」

—————

彩花 「ええ!？」

美咲（スサノオ）『これでトドメじゃあ！』

彩花 「うっ！」

彩花のライフ3↓0

ゲームエンド！WINNER……篠崎 美咲！

彩花「負けちゃった〜」

美咲「楽しかったよ！またやろうね？」

彩花「うん！」

そう言つて2人は手を取り合う。すると、何かを思い立ったのか……誰かが声を上げる！

智夏「いつけない！私、もうすぐ帰らなきゃ……お父さんに心配される！」

美咲「そうだね……今日はここまでにしよっか」

ガイト「またファイト出来る日を、楽しみにしている」

そう言つて3人は帰つて行つた。……そして、残された3人はと云えば？

彩花「じゃあ……私たちも、帰ろっか」

美沙 「そうしますか」

彩華 「早く帰ろ〜？」

そう言つて、後の3人もキャツスルを後にした。……だがこの時の3人は知らなかつた。思いもよらぬ所で、有り得ない事が進んでいる事に！

—————

【街中】

エミリアーノ 『ううっ……っ、伝えなければ……陽波が……陽波が、危ない！』

#17. 「ロストワールドの影」

いつもの様にバディファイアの特訓を行なっていた、バディ部の3人。4人から3人になったのには、ある理由があつての事で……？

【バディ部 部室】

彩花「どうしちやつたんだろ……陽波ちゃん。ミスリルで攻撃」

彩華「受けますね〜？……確かに、あれ以来姿を見てませんね〜」

美沙「陽波さんが居なくなつてしまったのは、とても悲しいですが……私たちは私たちにできる事をしましょう。そうすれば、陽波さんも戻つて来る筈です」

陽波が行方不明になつて、少しガランとした部室でファイアを行なつていた……。そんな中、彩花のスマホに1本の連絡が入る！

智夏『やつほー！元気にしてる？』

彩花「あ、智夏ちゃんだ……『あんまりかな』つと」

彩華「智夏ちゃんから〜？」

そうやって6人は目の前の館に目を向ける。見るからにボロい家を連想させるそれは、今にも崩れてしまいそうな程に、老朽化が進んでいた。

デイス『?』

智夏「どうしたの? デイス」

デイス『智夏よ……この先に、何者かの気配がする』

智夏「……分かった、行こう。……皆はどうする?」

入るかどうかを残りの5人に聞いたところ、了承の返事を返した為、智夏を筆頭に廃墟へと入って行った。

—————

【廃墟内】

ガイト「かなり古いな……」

アビゲール『ここは元々、身分の高い者たちが住んでいたのだろう……シャンデリアやカーペットもある』

美咲「そうだね……まず手始めに」

?「誰なの?……あなた達」

そうやって奥から一人の少女が歩いて来た。髪型は白いツインテールで黒いゴスロリの服を着ており、右眼に眼帯をした女の子が、彩花たちの方へと歩いて来た。

美沙「誰ですか、貴方は」

? 「私は新楼 レンゲ……ここは貴方たちが来て良い場所では無いわ、帰って頂戴」

智夏「そんなの出来ない！私は噂を確かめる為に、ここに来たんだから！」

? 『早く消え失せるが良い……』

そう言うのと一体のモンスターがレンゲの隣についた。そのモンスターは、どちらかと言えば……怖い雰囲気醸し出していた。

? 『我が名はへ次元竜 ゲート……レンゲのバディを務めている』

デイス『ムツ……貴様は』

智夏「知ってるの？デイス」

デイス『あのモンスターからは、強い《ロストワールド》の気配を感じる』

6人『《ロストワールド》?』

デイスがそう言うのと、ゲートも思い出したかのように言葉を発する。

ゲート『そうだ……我はあのモンスターと戦っていた。そして退けられ、封印された……』

レンゲ「兎に角……私は、誰とも関わり合いたくは無いの。消えて頂戴」

智夏「なら……私とファイトしよ！」

レンゲ「ファイト？」

智夏はデッキケースをレンゲに向けて言い放つ。そして要求を伝える。

智夏「貴方が勝ったら、私たちはここから立ち去る！でも、私が勝ったら噂は本当か聞かせて欲しいの！」

レンゲ「誰がファイトなんて……」

ゲート『良かろう』

レンゲ「ゲート？」

ゲート『奴のバディとは、決着を付けたい』

智夏「それじゃあ……始めるよ！
《S B F S》……起動！」

ソリッドバディファイトシステム

智夏はそう言つて真ん中に装置を設置した。すると……周りの風景が一変し、物々しい空気を漂わせた空間が現れ、智夏とレンゲは準備を整えた。

ガイト「奴はどんな実力を見せるんだ？」

美咲「楽しみだね！」

智夏「闇に潜みし神よ……禍々しき風格を纏わせ、全てを地に墮とせ！ルミナイズ《闇の神竜》!!!」

レンゲ「復讐と侵略の序章はここから始まる。ルミナイズ《禁断の扉の鍵》」

オープンTHEフラッグ！

智夏「ダークネスドラゴンワールド！バディは《ディストーション・ドラゴン》!!!」

智夏の手札6 / ゲージ2 / ライフ10

バディ《ディストーション・ドラゴン》

レンゲ「ドラゴンワールド。バディは《次元竜 ゲート》」

レンゲの手札6／ゲージ2／ライフ10
バディ《次元竜 ゲート》

――――
〔TURN1〕〔PL：智夏〕

智夏「私の先攻！ドロー、チャージ&ドロー！」

智夏の手札6↓7／ゲージ2↓3

智夏「ライフ1を払って装備へ絆の暗黒剣 イヴィル・パニツシャー↓!!!」

智夏の手札7↓6／ライフ10↓9

絆の暗黒剣 イヴィル・パニツシャー

攻5000／打撃2

智夏「イヴィル・パニツシャーでレンゲちゃんに攻撃！」

レンゲ「……」

レンゲのライフ10↓8

智夏「私はこれでターンエンド」

智夏の手札6／ゲージ3／ライフ9

#18. 「異次元の竜」

レンゲ「私のターン。ドロロー、チャージ&ドロロー。」

レンゲの手札6↓7/ゲージ2↓3

レンゲ「セクターにへ次元竜 アゴニアをコール」

レンゲの手札7↓6

—————

次元竜 アゴニア

フラッグ：ドラゴンワールド

種類：モンスター 属性：次元竜

サイズ3/攻6000/防6000/打撃2

■「次元竜 アゴニア」は1ターンに1枚だけコールできる。

■このカードが場からドロップに置かれた時、手札から《次元竜》1枚を捨ててよい。捨てたら、君のデッキの上から4枚を見て、その中から2枚を手札に加え、残りのカードをゲージに置く。

FT「彼は苦悩から解放される方法を知っている。」

—————

レンゲ「キャストへD・サクシヨン」効果でアゴニアを破壊して、ライフ+1、2枚ドロロー」

レンゲの手札6↓5↓7／ライフ8↓9

智夏「(自分のモンスターを破壊した? ……攻撃回数を増やすならともかく、攻撃する前に?)」

レンゲ「アゴニアの効果発動……手札の《次元竜》1枚を捨てて、デッキの上から4枚を見て、その中の2枚を手札に加え、残りをゲージに置く」

レンゲの手札7↓6↓8／ゲージ3↓5

—————

《手札に加えたカード》

① 《次元竜 ゲート》

② 《次元竜 イーラ》

—————

《破棄したカード》

① 《次元気銃 クラキア》

—————

レンゲ「センターに〈次元竜 ゲート〉をバディコール、レフトに〈次元竜 パイディア〉、ライトに〈次元竜 アスヒモ〉をコール。バディギフトでライフ＋1」

レンゲの手札 8 ↓ 5 / ライフ 9 ↓ 10

—————

次元竜 ゲート

フラッグ：ドラゴンワールド

種類：モンスター 属性：次元竜

サイズ 2 / 攻 6000 / 防 2000 / 打撃 2

■このカードが破壊された時、ライフ2を払い、手札2枚を捨ててよい。捨てたら、君のデッキから「ロストワールド」1枚を手札に加え、デッキをシャッフルする。

FT「開く、虚無の扉が。」

—————

次元竜 パイディア

フラッグ：ドラゴンワールド

種類：モンスター 属性：次元竜

サイズ 1 / 攻 3000 / 防 2000 / 打撃 2

■このカードが破壊された時、君のデッキから《次元竜》のアイテム1枚までを手札

に加え、デッキをシャッフルする。

FT 「月を見る余裕があるのか？」

—————

次元竜 アスヒモ

フラッグ：ドラゴンワールド

種類：モンスター 属性：次元竜

サイズ0／攻2000／防1000／打撃1

■このカードが登場した時、君の場の《次元竜》のモンスターの枚数分、君のライフを回復する。

FT 「絶望が成長したらどうしようもないじゃないか。」

—————

レンゲ 「アスヒモの効果でライフ+3。さらにキャストへD・スケープゴート」効果で私の場のモンスター全てを破壊」

レンゲの手札5↓4／ライフ10↓13

—————

〈次元竜 ゲート〉【破壊】!!!

〈次元竜 パイディア〉【破壊】!!!

〈次元竜 アスヒモ〉〔破壊〕!!!

—————

D・スケープゴート

フラッグ：ドラゴンワールド

種類：魔法 属性：次元竜／ドロロー

■【使用コスト】君の場の《次元竜》のモンスター好きな枚数を破壊する。

■このカードの【使用コスト】で破壊したカードの枚数分、君のライフを回復し、カードを引く。「D・スケープゴート」は1ターンに1枚だけ使える。

FT「いいじゃないか。自分が満たされるんだ、使えるモノは使うんだよ。」

—————

レンゲ「破壊される事で、その力を増す……それが《次元竜》。その力を見せてあげるわ。まずは〈D・スケープゴート〉の効果でライフ+3、3枚ドロロー。続けて〈次元竜ゲート〉の効果で、ライフ2と手札2枚をコストに、デッキから〈ロストワールド〉1枚を手札に加えるわ。〈次元竜 パイディア〉の効果で、デッキから《次元竜》のアイテム1枚までを手札に加える」

レンゲの手札 4 ↓ 7 ↓ 5 ↓ 6 ↓ 7 / ライフ 1 3 ↓ 1 6 ↓ 1 4

—————

美沙 「目まぐるしく動き回ってますね…」

彩花 「私、もうフラフラ…」

—————

レンゲ 「ライトにコールへ次元竜 イーラ、ライフルを払って装備へ次元気銃 クラキア」

レンゲの手札7↓5 / ライフ16↓15

—————

次元竜 イーラ

フラッグ：ドラゴンワールド

種類：モンスター 属性：次元竜

サイズ3 / 攻6000 / 防5000 / 打撃2

■このカードが攻撃した時、君のデッキの上から3枚を見て、その中のカード1枚までを手札に加え、残りのカードを好きな順番でデッキの上か下に置く。

FT 「仮初の体だが、欲求を満たすために充分な力を出せる。」

—————

次元気銃 クラキア

フラッグ：ドラゴンワールド

種類：モンスター 属性：次元竜／武器

攻5000／打撃1

■【装備コスト】ライフルを払う。

■【対抗】【起動】君のアタックフェイズ中、君の場の《次元竜》のモンスター1枚を選び、このカードをレストしてよい。レストしたら、選んだカードをスタンドし、カード1枚を引く。

FT「悪意は、伝染する。」

—————

智夏「(何だろう……見てるだけで、凄く恐ろしく見える!)」

レンゲ「イーラ、ファイターに攻撃しなさい」

レンゲ「イーラの効果発動。デッキの上から3枚を見て、その中のカード1枚を手札に加え、残りをデッキの上か下に好きな順序で置くわ」

—————

《公開したカード》

① 〈D・バリア〉

② 〈ドラゴトラップ〉

③ 〈D・オルタレーション〉

—————

レンゲ「私はその中の2枚目を手札に。1枚をデッキの上に、もう1枚をデッキの下に」

レンゲの手札5↓6

智夏「うっ！」

智夏のライフ9↓7

レンゲ「クラキアの効果発動。このカードをレストして、イーラをスタンド。さらに

1枚ドロロー……イーラ、もう一度行きなさい！攻撃時効果！」

レンゲの手札6↓7

—————

《公開したカード》

① へD・スケープゴート

② へD・オルタレーション

③ へ次元竜 アゴニア

—————

レンゲ「その中の2枚目を手札に。残りを全てデッキの下に置くわ」

レンゲの手札7↓8

智夏「ゲージ1を払ってへデスグリツプをキャスト！効果でへ次元竜 イーラを破壊するよ！」

智夏の手札6↓5／ゲージ3↓2

次元竜 イーラ【撃破】!!!

レンゲ「やるわね、ターンエンド」

レンゲの手札8／ゲージ5／ライフ15

19. 「虚無ノ扉ガ開ク時」

智夏「私のターン！ドロ、チャージ&ドロ！」

智夏の手札5↓6／ゲージ2↓3

智夏「(相手のドロップは10枚……なら、これが行ける!)へソウルスティールをキヤスト!効果でゲージ+2!さらに相手のドロップゾーンが10枚なので、さらにゲージ+1!」

智夏の手札6↓5／ゲージ3↓6／ドロップ0↓1

智夏「ゲージ2を払い、デッキの上から5枚を破棄してレフトにへ煉獄竜 アビサル・ページをコール!」

智夏の手札5↓4／ゲージ6↓4／ドロップ1↓3↓8

煉獄竜 アビサル・ページ

サイズ1／攻5000／防2000／打撃2

智夏「アビサル・ページの効果で……デッキとドロップから、カード名に「ディストー」

シヨン」を含むカード1枚ずつを手札に加える！」

智夏の手札4↓6

—————

《手札に加えたカード》

① 〈デイストーション・ドラゴン〉(デッキ)

② 〈デイストーション・ドラゴン 》モード・インフェルノ〉(ドロップ)

—————

美咲「(上手い！バディを持って来た！)」

ガイト「(オレたちは、今まで此奴には何度も助けて貰ったからな……この位は当然だ
ろう)」

—————

智夏「行つくよー！ゲージを払って、ライトに〈デイストーション・ドラゴン〉を
バディコール！」

智夏の手札6↓5／ゲージ4↓3／ライフ7↓8

デイス『智夏よ……我と共に行くぞ！』

デイストーション・ドラゴン

サイズ2 / 攻7000 / 防4000 / 打撃2

【ソウルガード】 / ソウル1

智夏 「行つくよー！バトル！」

レンゲ 「ゲージ1とライフ2をコストにキャストへドラゴトラップ」効果で「デイス
トーション・ドラゴン」を攻撃不能にする」

レンゲの手札8 ↓ 7 / ゲージ5 ↓ 4 / ライフ15 ↓ 13

デイス 『それ位は想定内だ！……智夏！』

智夏 「OK！〈歪みの変貌〉をキャスト！効果によって……〈デイストーション・ド
ラゴン〉、〈D・EVO〉発動！チェンジ！〈デイストーション・ドラゴン〉モード・イ
ンフェルノ”↓↓！！」

智夏の手札5 ↓ 4 ↓ 3

デイス 『これぞ……私の新たな姿、モード・インフェルノ！その力を前に、跪くが
良いわ！』

ーーーー

デイストーション・ドラゴン ”モード・インフェルノ”

フラッグ：ダークネスドラゴンワールド

種類：モンスター 属性：闇竜／ドラゴッド

サイズ2／攻8000／防7000／打撃2

■【コールコスト】ゲージ2を払う。

■このカードが登場した時、君のライフ+2！さらにこのカードが〈D・EVO〉で登場しているなら、カード2枚を引く。

■【対抗】【起動】君の場のモンスター1枚を破壊してよい。破壊したら、君のライフ+2し、相手の場のモンスター1枚を破壊する。この効果は1ターンに1回だけ使える。

【移動】【ソウルガード】

FT「我が操りし煉獄の焔に……焼かれて消え失せろ！雑兵共が！」

—————

智夏「アビサル・ページでレンゲちゃんに攻撃！」

レンゲ「受けるわ」

レンゲのライフ13↓11

智夏「デイス……レンゲちゃんに攻撃！」

デイス『受けるが良いわ！』

レンゲ「……」

レンゲのライフ11↓9

智夏「イヴィル・パニツシャー!!!」

智夏は自身の持っている剣を、レンゲ目掛けて勢い良く振り下ろした!……しかし、そこに立っていたのは、不敵な笑みを浮かべたレンゲだった!

レンゲ「キャストへD・オルタレーション」効果で、このターン中に相手が3回以上攻撃しているなら、このフェイズを終了させるわ」

レンゲの手札7↓6

智夏「……私はこれでターンエンド」

智夏の手札3／ゲージ3／ライフ8

智夏がターンエンドを宣言した瞬間、レンゲの手札の中の1枚が黒き雷を発し始めた

!

レンゲ「相手のターン終了時、ゲージ2を払う事で”ロスト化”……オーバーT H E フラッグへロストワールド」

レンゲの手札6↓5／ゲージ4↓2

レンゲが『ロスト化』を宣言した瞬間、《ドラゴンワールド》のフラッグが《ロストワールド》のフラッグに変化した！それだけではなく……レンゲの周りに渦が巻き起こり始めた！

……暫くするとそこには、服装がミリタリーロリータに変化し、右眼の眼帯も無くなって赤色の眼をしており、ツインテールをロングにした、頭に小さな王冠を乗せた少女が立っていた！

レンゲ「見なさい……これがバディファイトの常識を覆す、新たな力よ」

智夏「ええ!？」

デイス『なんと!』

そう言った瞬間、レンゲのデッキケースのカードが、渦に吸い込まれるかの様にすべり消失してしまった!……そしてレンゲはこう宣言する!

レンゲ「ロストデッキよ……我が、手へ!」

レンゲがそう言うと、空が割れ、その中から黒いカードがレンゲの下へと舞い降りて来た！そしてそのカードはレンゲの周りを漂い始めた！

レンゲ「ふふふふふ……この私とファイトした事を、後悔すると良いわ。禁断の扉開く時、仮初の竜は真なる姿を見せる！」

そう告げた後、レンゲの手へ黒いカードが集まり始め……そして新たなるデッキと化した！

レンゲ「うふふつ……デッキチェンジ《ロスト・レヴオリュション》!!!」

智夏「な、何……これ……！」

デイス『気をつけろ！奴からは《ロストワールド》の強い気配を感じる！並々ならぬ威圧感だ！』

レンゲ「後悔しても遅いわ……私の真の力で、葬り去ってアゲル！私のターン！ドロ、チャージ&ドロ！その目に焼き付けなさい……《ロストワールド》の強大なる力を！」

レンゲの手札5↓6／ゲージ2↓3